

平成20年版  
桑名保健福祉事務所年報  
(平成19年度実績)

三重県桑名保健福祉事務所

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/>

保健衛生室(桑名保健所)

511-8567 三重県桑名市中央町5丁目71番地

総務企画課 0594-24-3621

健康増進課 0594-24-3625

地域保健課 0594-24-3620

衛生指導課 0594-24-3623

食の安全・安心監視課 0594-24-3619

ファックス 0594-24-3692・3626

福祉相談室(北勢福祉事務所)

510-8511 三重県四日市市新正4丁目21番5号

福祉課 059-352-0586

生活保護課 059-352-0235

ファックス 059-352-0598

### **凡例**

各表中、頭注（右上欄）に調査年月日が記入されていないものには、平成 19 年度実績及び平成 20 年 4 月 1 日現在数を示し、数表の記号は次のような場合に使用しました。

該当数字のない場合 「 - 」

調査項目のありえないもの及び調査しなかった場合 「/」

# 目 次

## 第1章 組織

1. 桑名保健福祉事務所の沿革	.....	1
2. 桑名保健福祉事務所の機構と業務内容	.....	4
1. 職員の状況	.....	4
2. 組織及び分掌事務	.....	4
3. 案内	.....	6

## 第2章 管内の概況

3. 市町の概況	.....	9
1. 管内市町面積・世帯数・人口	.....	9
2. 管内略図	.....	9
3. 管内人口の推移・管内人口ピラミッド	.....	10
4. 人口動態統計	.....	11
1. 人口動態総覧（数）	.....	12
2. 人口動態総覧（率）	.....	12
3. 市町別・性別・出生体重区分別出生数	.....	13
4. 母の年齢別・出生順位別出生数（三重県の件数）	.....	13
5. 市町別・主要死因別死亡数	.....	14
6. 市町別・主要死因別死亡率	.....	14
7. 市町別・性別・悪性新生物部位別死亡数	.....	15

## 第3章 保健・医療・福祉資源の状況

5. 医務	.....	16
1. 市町別医療関係施設数	.....	16
2. 市町別病院病床数	.....	16
3. 管内医療従事者数	.....	17
6. 栄養改善	.....	18
1. 給食施設数及び指導状況	.....	18
2. 食生活改善推進員数及び地区組織活動支援状況	.....	18
3. 管内行政栄養士配置数及び技術支援状況	.....	18
7. 食品衛生	.....	19
1. 食品関係施設数及び監視状況	.....	19
2. 食品等の収去検査結果	.....	20
3. 食中毒発生状況	.....	20
8. 環境衛生・薬事・動物取扱業関係営業施設	.....	21
1. 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況	.....	21

2．薬事関係営業施設数及び監視指導状況	.....	21
3．動物取扱業営業登録施設数及び監視指導状況	.....	22
<b>9．民生委員・児童委員等配置状況</b>	.....	23
1．民生委員・児童委員数	.....	23
2．身体障がい者、知的障がい者相談員数	.....	23
<b>10．社会福祉施設</b>	.....	24
1．社会福祉施設等の整備状況（市町別）	.....	24
2．児童福祉施設	.....	25
3．高齢者福祉施設	.....	26
4．障がい福祉サービス事業所	.....	27
<b>11．各種免許申請・取得状況</b>	.....	28
1．医療・福祉従事者免許申請・交付状況	.....	28
2．調理師免許取得状況	.....	28
3．製菓衛生師免許取得状況	.....	28
<b>12．市町保健師設置状況</b>	.....	29
1．保健師配置状況	.....	29

#### **第4章 障がい者保健福祉**

<b>13．身体障がい者福祉・知的障がい者福祉</b>	.....	30
1．身体障害者手帳所持者の障がい別状況	.....	30
2．療育手帳所持者の状況	.....	30
<b>14．精神保健福祉対策事業</b>	.....	31
1．精神障害者地域生活支援事業	.....	31
2．精神障害者社会復帰推進事業	.....	31
(1) 精神障害者社会参加支援事業	.....	31
(2) 普及啓発	.....	32
(3) 地域支援ネットワークづくり	.....	32
(4) 精神障害者通院患者リハビリテーション事業	.....	33
3．精神保健医療対策事業	.....	34
<b>15．障害者小規模作業所事業費補助金</b>	.....	35

#### **第5章 母子保健**

<b>16．母子保健関連事業</b>	.....	36
1．母子保健対策事業	.....	36
(1) 未熟児訪問事業	.....	36
(2) 健やか親子支援事業	.....	37
2．母子医療対策事業	.....	38
(1) 育成医療	.....	38

(2) 養育医療	.....	38
(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業	.....	39
(4) 特定不妊治療費助成事業	.....	39

## **第6章 疾病対策**

<b>17. 結核予防</b>	.....	40
1. 管内結核登録患者の状況	.....	40
2. 結核検診実施状況	.....	42
3. 市町別一般住民結核健康診断実施状況	.....	42
4. 感染症診査協議会における結核医療診査状況	.....	43
5. 感染症診査協議会委員名簿	.....	43
6. 結核健康相談開催	.....	43
7. 四日市社会保険病院とのDOTSカンファレンス実施	.....	43
<b>18. 感染症予防</b>	.....	44
1. 感染症予防	.....	44
(1) 二類・三類感染症発生状況（結核以外）	.....	44
(2) 二類・三類感染症対策検査実施状況（結核以外）	.....	44
2. エイズ予防事業	.....	45
3. 予防接種	.....	45
<b>19. 難病対策関係事業</b>	.....	46
1. 難病在宅ケア事業	.....	46
2. 特定疾患治療研究事業	.....	48
<b>20. 骨髄バンク事業</b>	.....	49
<b>21. 原子爆弾被爆者援護</b>	.....	50
1. 被爆者医療	.....	50

## **第7章 健康づくり(ヘルシーピープルみえ・21)・保健栄養**

<b>22. たばこ対策</b>	.....	51
1. 啓発活動	.....	51
2. 受動喫煙防止対策	.....	51
3. 禁煙支援	.....	51
<b>23. こころの健康づくり</b>	.....	52
1. こころの健康づくり研修会	.....	52
2. こころの健康づくり教育	.....	52
3. 平成20年度の方針、実施計画	.....	52
<b>24. 「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業</b>	.....	53
<b>25. 保健栄養</b>	.....	55
1. 栄養改善指導実施状況	.....	55

2 . 朝食欠食幼児ゼロ推進事業	.....	55
3 . 食事バランスガイド地域協働啓発事業	.....	55
4 . 栄養士職域ネットワーク研究会	.....	56

## **第 8 章 薬務**

2 6 . 薬物乱用防止対策の推進	.....	57
2 7 . 献血推進	.....	58
1 . 市町別献血状況	.....	58

## **第 9 章 狂犬病予防**

2 8 . 狂犬病予防	.....	59
1 . 畜犬捕獲等業務	.....	59

## **第 10 章 高齢者福祉**

2 9 . 介護保険	.....	60
1 . 介護支援専門員実務研修受講試験申込受付状況	.....	60
2 . 現任研修実施状況	.....	60
3 . 要支援・要介護認定状況	.....	61
4 . 介護保険審査会の開催状況	.....	62

## **第 11 章 母子及び寡婦福祉・女性相談**

3 0 . 母子及び寡婦福祉	.....	63
1 . 母子及び寡婦福祉資金の貸付	.....	63
3 1 . 女性相談	.....	64
1 . 平成 19 年度相談件数	.....	64
2 . 平成 19 年度相談主訴別受付状況（新規・再来相談）	.....	64
3 . 相談件数の推移	.....	64

## **第 12 章 保健・医療・福祉関係者の養成**

3 2 . 研修・実習生の受入状況	.....	65
1 . 臨床研修医・実習生の受入状況	.....	65

## 第1章 組織

### 1. 桑名保健福祉事務所の沿革

明治30年(1897年)	伝染病予防法施行
昭和12年(1937年)	保健所法公布
昭和19年(1944年)10月	<b>三重県桑名保健所発足</b> (職員10人) 前身は桑名簡易保険健康相談所(桑名市上野18)
昭和22年(1947年)7月	戦災後桑名郵便局の一室を仮事務所として業務執行(職員16人)
昭和22年(1947年)	<b>新保健所法</b> 、食品衛生法、児童福祉法制定(施行は、3法とも昭和23年1月)
昭和23年(1948年)	児童福祉法、予防接種法、性病予防法施行
昭和23年(1948年)11月	課制(機構)執行(職員27名)
昭和24年(1949年)4月	新庁舎完成移転(桑名市常磐町、敷地215坪、建坪114坪)
昭和24年(1949年)	身体障害者福祉法制定
昭和25年(1950年)	精神衛生法、狂犬病予防法、生活保護法制定
昭和26年(1951年)	結核予防法、社会福祉事業法(平成12年6月「社会福祉法」に改称)制定
昭和27年(1952年)	栄養改善法制定
昭和27年(1952年)9月	係長制度施行される。
昭和31年(1956年)8月	薬剤師法、薬事法制定
昭和35年(1960年)	精神薄弱者福祉法制定
昭和35年(1960年)8月	次長制度施行される。
昭和38年(1963年)	老人福祉法制定
昭和39年(1964年)	母子福祉法制定(昭和56年「母子及び寡婦福祉法」に改称)
昭和40年(1965年)	母子保健法制定
昭和45年(1970年)	心身障害者対策法制定
昭和48年(1973年)5月	<b>新庁舎完成移転</b> (桑名市中央町五丁目71番地)
昭和48年(1973年)9月	動物の保護及び管理に関する法律制定(施行は、昭和49年1月)
昭和51年(1976年)4月	機構改革により環境課新設、衛生課を衛生指導課に改称
昭和53年(1978年)4月	機構改革により総務課に検査係新設、普及係を医事統計係に改称
昭和54年(1979年)10月	薬事法改正
昭和61年(1986年)4月	機構改革により総務課医事統計係を廃止、総務係に吸収
昭和62年(1987年)	精神衛生法改正(「精神保健法」に改称)
平成元2年(1989年)	後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行
平成5年(1993年)4月	機構改革により総務課 <b>検査係を廃止</b> 、保健婦室を保健指導課に改称、 保健予防課保健係、予防係を保健予防係に統一
平成5年(1993年)12月	心身障害者対策法改正(「障害者基本法」に改称)
平成6年(1994年)6月	<b>地域保健法制定(保健所機能の強化)</b> 、 <b>関係法律整備</b> (保健所法、母子保健法、児童福祉法、栄養改善法、医療法、薬事法、伝染病予防法、食品衛生法等)
平成7年(1995年)7月	精神保健法改正(精神障害者保健福祉手帳制度の創設、「精神保健及び精神障害

## 第1章 組織

- 者福祉に関する法律」に改称)
- 平成8年(1996年)4月 らい予防法廃止、6月 薬事法改正
- 平成9年(1997年)4月 地域保健法全面施行
- 平成9年(1997年)4月 機構改革により企画調整課新設、保健予防課、保健指導課を地域保健課に統一
- 平成9年(1997年)12月 介護保険法制定(平成12年4月施行)
- 平成10年(1998年)4月 機構改革により旧桑名保健所と旧北勢福祉事務所の一部を統合し、児童相談機能を含めて「北勢県民局桑名保健福祉部」として発足(桑名保健所は併置機関として存続)。  
組織体制は、部長(福祉監兼)、保健監(保健所長兼)、副部長のもと、企画総務、健康増進、福祉保健、衛生指導のグループを設置。各グループにグループリーダーを置く。環境課業務を移管する。
- 平成11年(1999年)4月 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)施行(伝染病予防法、性病予防法、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律廃止)、
- 4月 精神薄弱者福祉法改正(「知的障害者福祉法」に改称)
- 12月 動物の保護及び管理に関する法律改正(「動物の愛護及び管理に関する法律」に改称。施行は、平成12年12月)
- 平成13年(2001年)3月 地域健康危機管理ガイドライン策定(厚生労働省)
- 平成14年(2002年)4月 チーム、グループ制の導入により、桑名保健福祉部に福祉相談チーム(経営支援、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生チーム(計画調整、健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、チームマネージャー、グループチームマネージャー、グループリーダーを置く。  
(保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する)
- 平成14年(2002年)8月 健康増進法制定(平成15年5月施行)
- 平成15年(2003年)4月 経営支援グループと計画調整グループを統合して経営企画グループとし、福祉相談チーム3グループ、保健衛生チーム2グループとする。
- 平成15年(2003年)5月 食品安全基本法制定、食品衛生法改正(リスク分析手法の導入)
- 平成16年(2004年)4月 チームマネージャー等のカタカナ呼称や組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に福祉相談室(経営企画、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生室(健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。  
(保健衛生室長は、保健所長を兼務する。)
- 平成16年(2004年)12月 発達障害者支援法制定(平成17年4月施行)
- 平成17年(2005年)4月 組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に企画福祉室(企画市町村支援、福祉の各グループ)、保健衛生室(健康増進、地域保健、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。  
(保健衛生室長は、保健所長を兼務する。)
- 生活保護業務を四日市保健福祉事務所に、児童相談業務を北勢児童

## 第1章 組織

### 相談所に移管。

- 平成17年(2005年) 4月 薬事法改正
- 6月 食育基本法制定(平成17年7月15日施行)
- 6月 動物の愛護及び管理に関する法律改正(平成18年6月1日施行)
- 10月 障害者自立支援法制定(平成18年4月1日施行)
- 平成18年(2006年)4月 機構改革により**県民局制度が廃止**され、健康福祉部直轄の地域機関「**桑名保健福祉事務所**」となる。
- 保健福祉事務所-保健衛生室-企画福祉課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課の1室4課体制で、各課に「課長」を置く。
- 平成18年(2006年) 6月 老人保健法改正(「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正)
- 12月 精神保健福祉法改正(「精神病院」を「精神科病院」に改める)
- 12月 結核予防法の廃止。感染症法、予防接種法改正(平成19年4月1日、6月1日施行)
- 平成20年(2008年)4月 **四日市市が保健所政令市に移行し、四日市市保健所が設置**される。
- これに伴う機構改革により、三重県四日市保健福祉事務所は、平成20年3月31日付けで廃止。同年4月1日から、**四日市市保健所に移譲されなかつた四日市市にかかる保健所業務、三重郡3町にかかるすべての保健所業務が、桑名保健福祉事務所に移管**される。
- その結果、桑名保健福祉事務所の所管区域は、桑名市、いなべ市、桑名郡木曾岬町、員弁郡東員町、四日市市、三重郡菰野町、同朝日町、同川越町の3市5町となる。
- 「福祉相談室(北勢福祉事務所)」-福祉課、生活保護課-と、「保健衛生室(桑名保健所)」-総務企画課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課、食の安全・安心監視課-の2室7課体制となり、福祉相談室は三重県四日市庁舎に、保健衛生室は三重県桑名庁舎に執務室を置く。

2. 桑名保健福祉事務所の機構と業務内容

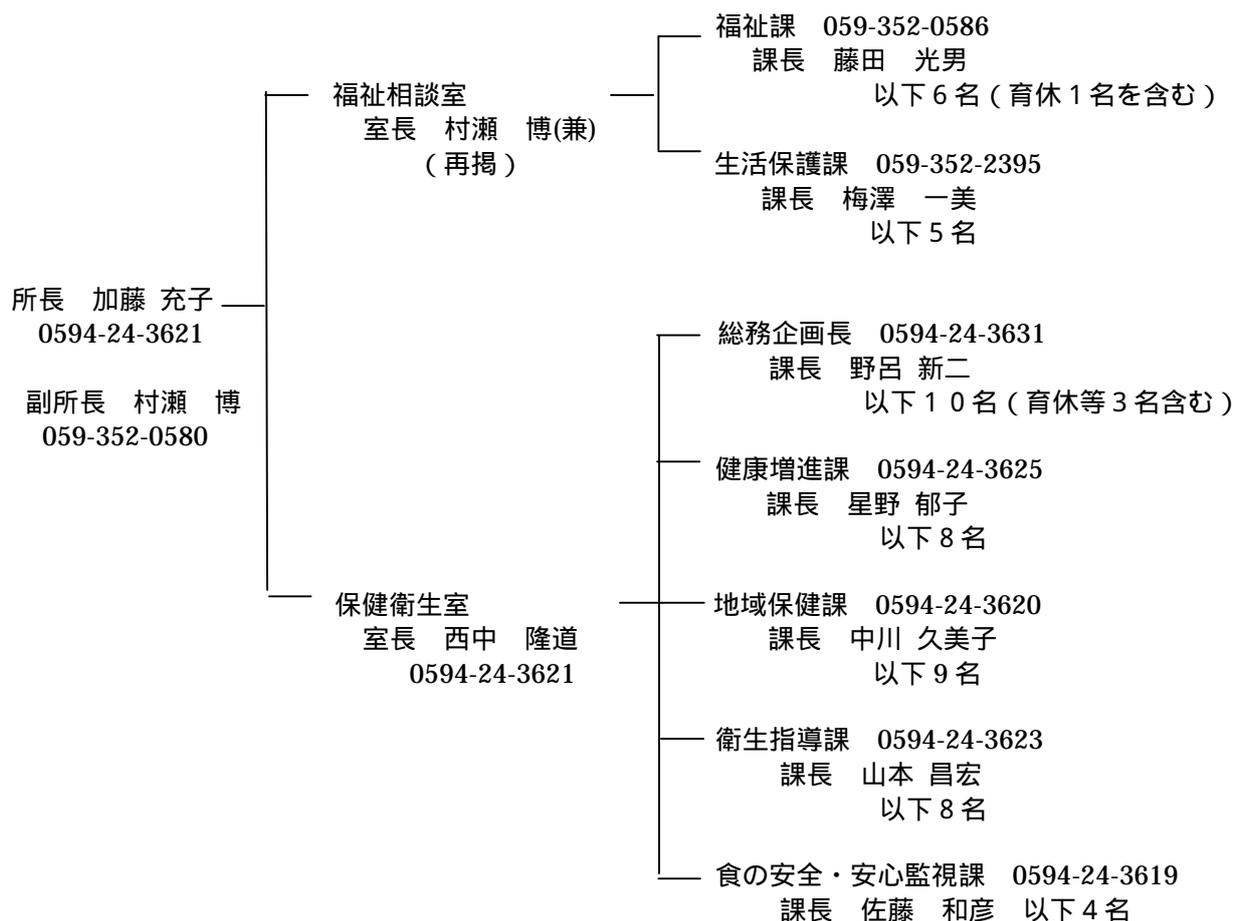
1. 職員の状況

(平成20年4月1日)

区 分		事務吏員	技術吏員	技術員	合 計	備 考
定員		23	26	-	49	
現在員		25	28	-	53	
所長		-	1	-	1	育休等の者を含む。
福祉相談室	室長	1	-	-	1	
	福祉課	6	-	-	6	
	生活保護課	4	1	-	5	
保健衛生室	室長	-	1	-	1	
	総務企画課	6	4	-	10	
	健康増進課	1	7	-	8	
	地域保健課	5	4	-	9	
	衛生指導課	2	6	-	8	
	食の安全・安心監視課	-	4	-	4	

2. 組織及び分掌事務

(1) 組織図



## 第1章 組織

### (2) 分掌事務

#### 福祉相談室（福祉課）

- 高齢者保健福祉、身体障がい者福祉、知的障がい者福祉に関すること
- 介護保険制度、障がい者自立支援制度に関すること（三泗地域）
- 保育所等児童福祉に関すること
- 福祉行政報告例に関すること
- 民生委員組織活動支援に関すること
- 特別障害者手当等に関すること
- ユニバーサルデザインに関すること
- 女性相談、ひとり親家庭相談に関すること

#### 福祉相談室（生活保護課）

- 生活保護に関すること

#### 保健衛生室（総務企画課）

- 医療、福祉従事者の免許申請に関すること
- 衛生統計に関すること
- 医療、保健、福祉関係の実習、研修に関すること
- 介護保険制度、障がい者自立支援制度に関すること（桑員地域）
- 災害救助に関すること
- 医療監視業務に関すること
- 保健医療計画に関すること

#### 保健衛生室（健康増進課）

- 感染症対策、感染症発生動向調査に関すること
- 結核医療、結核予防に関すること
- エイズ相談・検査に関すること
- 医療法の手続きに関すること
- 原子爆弾被害者対策に関すること
- 献血、骨髄バンク登録推進に関すること
- 保健栄養対策に関すること
- 歯科保健に関すること
- こころの健康づくりに関すること
- ヘルシーピープルみえ・21事業に関すること

#### 保健衛生室（地域保健課）

- 難病、特定疾患対策に関すること
- 小児慢性特定疾患に関すること
- 養育医療給付に関すること
- 自立支援医療（育成）給付に関すること
- 母子保健に関すること
- 特定不妊治療費助成事業に関すること
- 精神保健福祉に関すること

#### 保健衛生室（衛生指導課）

- 食品衛生に関すること
- 医薬品、毒劇物に関すること
- 旅館、公衆浴場、興行場に関すること
- 理容、美容、クリーニングに関すること
- 調理師、理美容師、クリーニング師等の免許申請に関すること
- 墓地及び火葬場に関すること
- 動物愛護推進に関すること

#### 保健衛生室（食の安全・安心監視課）

- 大規模食品販売業・製造業監視指導に関すること
- 食品表示に関すること
- 三重県 HACCP 手法認定制度の推進に関すること

# 第1章 組織

## 3. 案内

名称 三重県桑名保健福祉事務所（保健衛生室 = 桑名保健所・・・三重県桑名庁舎）

所在地 〒511-8567 三重県桑名市中央町5丁目7番地

位置図



詳細図



第1章 組織

名称 三重県桑名保健福祉事務所（福祉相談室 = 北勢福祉事務所・・・三重県四日市庁舎）

所在地 〒510-8511 三重県四日市市新正4丁目21番5号

位置図



詳細図



次章からのデータは、平成 19 年度の三重県桑名保健福祉事務所所管区域である、桑名市、いなべ市、桑名郡木曾岬町、員弁郡東員町の実績を示します。

### 3. 市町の概況

#### 1. 管内市町面積・世帯数・人口

	面積 (Km <sup>2</sup> )	世帯数	総人口 (人)	人口密度 (人/Km <sup>2</sup> )	老年人口割合 (%) 65 才以上	後期老年人口 割合 (%) 75 才以上
管内	394.57	77,270	219,830	557	19.6	8.9
桑名市	136.61	50,371	140,554	1030	19.2	8.5
いなべ市	219.58	16,231	46,625	212	21.6	11.0
木曾岬町	15.72	2,223	6,848	437	19.8	7.7
東員町	22.66	8,445	25,803	1139	18.0	8.1
三重県	5,776.60	700,421	1,869,307	324	22.5	10.8

世帯数・総人口は H19.10.1 現在 (三重県統計情報データベースによる。)

老年人口割合・後期老年人口割合は H18.10.1 現在 (みえDataBoxによる。)

#### 2. 管内略図



平成15年12月1日  
北勢町、員弁町、大安町、藤原町が合併し、いなべ市となる。  
平成16年12月6日  
桑名市、多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

第2章 管内の概要

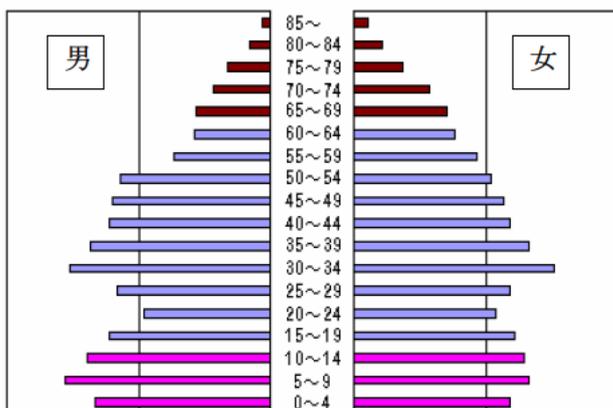
3. 管内人口の推移・管内人口ピラミッド

年	S 4 0	S 4 5	S 5 0	S 5 5	S 6 0	H 2	H 7	H 1 2	H 1 7	H 2 2	H 2 7	H 3 2
	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
管内	145,307	152,754	161,024	172,425	188,573	200,538	208,807	213,963	217,758	220,263	221,222	220,276
桑名市	75,712	81,032	83,440	86,606	94,731	97,909	103,044	108,378	113,044	116,798	119,472	121,076
多度町	10,726	10,614	10,888	11,072	11,381	11,403	11,326	10,810	10,220	9,581	8,933	8,267
長島町	8,843	9,774	11,255	12,632	13,743	14,730	15,225	15,668	16,130	16,468	16,765	16,860
木曾岬町	2,960	3,358	4,097	4,986	6,307	7,167	7,231	7,172	7,011	6,811	6,589	6,305
北勢町	11,928	12,001	12,934	13,427	13,759	13,659	14,417	14,443	14,332	14,102	13,793	13,412
員弁町	6,834	7,053	7,768	8,339	8,502	8,284	8,776	8,687	8,500	8,316	8,089	7,798
大安町	11,048	11,052	11,503	11,836	13,248	14,095	14,873	15,186	15,412	15,524	15,534	15,414
東員町	8,599	9,562	10,770	15,538	18,949	25,447	26,235	26,305	26,250	26,284	26,168	25,746
藤原町	8,657	8,308	8,369	7,989	7,953	7,844	7,680	7,314	6,859	6,379	5,879	5,398

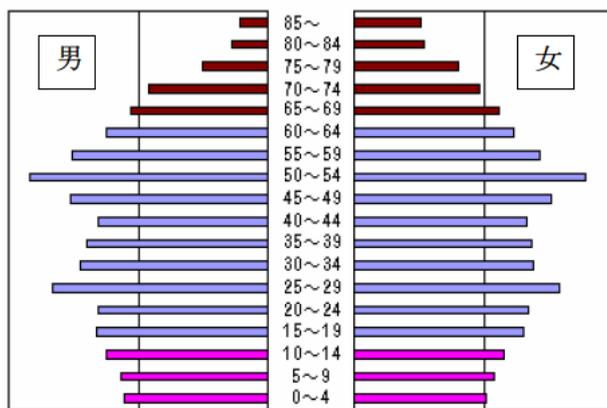
県のトップページ (<http://www.pref.mie.jp/>) -最新の統計情報/みえ DataBox-三重県統計情報データベース  
2005年以降は、2000年を基準にした予測値「将来人口予測」(2000年版) 政策部統計室による。

管内の人口(男女別)ピラミッド

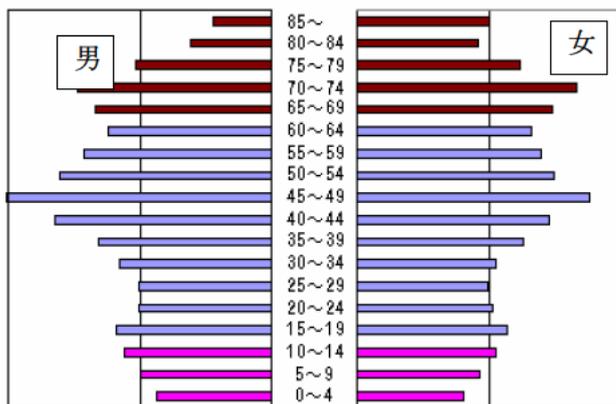
1980年(昭和55年)



2000年(平成12年)



2020年(平成32年)



#### 4. 人口動態統計

・出生数は減少

平成18年の出生数は、1,828人で、前年の1,788人に対して40人増加している。出生率は、人口千対で8.4となり、前年(8.2)に対して0.2増加しており、三重県の8.5は、全国の8.7と比べ0.2下回っている。

・死亡数は増加

平成18年の死亡数は1,766人で、前年の1,733人に対して33人増加し、死亡率は、人口千対8.1で、前年の7.9よりも上回っているが、三重県の9.2、全国の8.6よりは下回っている。

死因別では、第1位悪性新生物483人、第2位心疾患(高血圧症を除く)318人、第3位脳血管疾患186人の順になっている。

・自然増加数は減少

自然増加数は、62人で、前年の55人に対して7人増加している。

・死産数は増加

死産数は、46胎で、前年に対して、10胎減少している。

・婚姻件数は減少

婚姻件数は、1,093件で、前年に対して、36件増加し、婚姻率は人口千対5.0であり、前年より0.2上回った。

・離婚件数は減少

離婚件数は、342件で、前年に対して、1件増加し、離婚率は人口千対1.56であり、前年と同じであった。

1. 人口動態総覧(数)

	人口			出生数			死亡数			自然増 加数	乳児死亡数			新生児 死亡数	死産			周産期死亡数			婚姻	離婚
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女		総数	自然	人工	総数	妊娠22 週以後 の死産	早期新 生児死 亡		
管内	220,370	109,094	111,276	1,828	941	887	1,766	894	872	62	7	5	2	4	46	22	24	11	8	3	1,093	342
桑名市	141,008	69,234	71,774	1,241	654	587	1,110	581	529	131	4	3	1	2	32	16	16	8	7	1	690	229
いなべ市	46,862	23,879	22,983	367	188	179	434	201	233	67	2	2	-	1	7	5	2	2	1	1	234	68
木曾岬町	6,824	3,425	3,399	45	24	21	44	24	20	1	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	39	14
東員町	25,676	12,556	13,120	175	75	100	178	88	90	3	1	-	1	1	4	1	3	1	0	1	130	31
全国	127,770,000	62,330,000	65,440,000	1,092,674			1,084,450			8,224	2,864			1,444	30,911	13,424	17,487	5,100	4,047	1,053	730,971	257,475
三重県	1,869,307	910,282	959,025	15,816			17,156			1,340	45			25	426	198	228	83	64	19	9,889	3,508

人口数は、H20.5.1 現在。 その他は、H18年 人口動態調査(確定数)

2. 人口動態総覧(率)

	出生率	死亡率	自然増加率	乳児死亡率	新生児死亡率	死産率			周産期死亡率			婚姻	離婚	合計特殊出生率
	総数	総数		総数	総数	総数	自然	人工	総数	妊娠22週以 後の死産	早期新生児 死亡			
管内	8.4	8.1	0.3	3.8	2.2	24.5	11.7	12.8	6.0	4.4	1.6	5.0	1.56	1.29
桑名市	8.9	7.9	1.0	3.2	1.6	25.1	12.6	12.6	6.4	5.6	0.8	4.9	1.64	1.32
いなべ市	7.9	9.3	1.4	5.4	2.7	18.7	13.4	5.3	5.4	2.7	2.7	5.0	1.46	1.33
木曾岬町	6.5	6.4	0.1	-	-	62.5	-	62.5	-	-	-	5.7	2.04	1.13
東員町	6.8	6.9	0.1	5.7	5.7	22.3	5.6	16.8	5.7	-	5.7	5.0	1.20	1.05
全国	8.7	8.6	0.1	2.6	1.3	27.5	11.9	15.6	4.7	3.7	1.0	5.8	2.04	1.32
三重県	8.5	9.2	0.7	2.8	1.6	26.2	12.2	14.0	5.2	4.0	1.2	5.3	1.88	1.36

H18年 人口動態調査(確定数)

3. 市町別・性別・出生体重区分別出生数

	総数	性別計		1000g未満		1000g~		1500g~		2000g~		2500g~		3000g~		3500g~		4000g~		4500g~		不詳		2500g未満 (再掲)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管内	1,828	941	887	1	2	4	5	16	10	58	64	277	343	436	368	135	84	14	11	-	-	-	-	79	81
桑名市	1,241	654	587	1	-	2	3	11	8	42	38	182	240	322	241	85	49	9	8	-	-	-	-	56	49
いなべ市	367	188	179	-	2	1	1	3	2	12	17	62	60	71	76	36	19	3	2	-	-	-	-	16	22
木曽岬町	45	24	21	-	-	-	1	-	-	3	2	7	6	9	12	5	-	-	-	-	-	-	-	3	3
東員町	175	75	100	-	-	1	-	2	-	1	7	26	37	34	39	9	16	2	1	-	-	-	-	4	7

出生数 H18年 人口動態調査 出生票 (確定数)

4. 母の年齢別・出生順位別出生数(管内の件数でなく、三重県の件数)

	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上
全年齢	15,816	7,402	6,137	1,882	308	87
~14歳	-	-	-	-	-	-
15歳~19歳	259	228	29	2	-	-
20歳~24歳	2,003	1,357	567	72	7	-
25歳~29歳	5,052	2,841	1,791	374	42	4
30歳~34歳	6,134	2,273	2,801	919	112	29
35歳~39歳	2,128	634	882	456	120	36
40歳~	240	69	67	59	27	18
不詳	-	-	-	-	-	-

出生数 H18年 人口動態調査 出生票 (確定数)

5. 市町別・主要死因別死亡数

	[全死因]	Se01[結核]	Se02[悪性新生物]	Se14[糖尿病]	Se15[高血圧疾患]	Se16[心疾患(高血圧症を除く)]	Se21[脳血管疾患]	Se25[大動脈及び解離]	Se26[肺炎]	Se27[慢性閉塞性肺疾患]	Se28[喘息]	Se29[肝疾患]	Se30[腎不全]	Se31[老衰]	Se32[不慮の事故]	Se34[自殺]	その他
管内	1756	5	483	13	10	318	186	19	182	22	4	24	40	72	80	49	249
桑名市	1100	3	301	8	5	188	114	14	119	14	4	18	30	55	49	31	147
いなべ市	434	1	115	3	4	94	44	1	42	7	-	3	6	10	18	14	72
木曾岬町	44	1	15	1	-	7	5	-	4	-	-	1	1	-	4	-	5
東員町	178	-	52	1	1	29	23	4	17	1	-	2	3	7	9	4	25

死亡数 H18年 人口動態調査 死亡票 (確定数)

6. 市町別・主要死因別死亡率

	[全死因(率)]	Se01(率)	Se02(率)	Se14(率)	Se15(率)	Se16(率)	Se21(率)	Se25(率)	Se26(率)	Se27(率)	Se28(率)	Se29(率)	Se30(率)	Se31(率)	Se32(率)	Se34(率)	その他
管内	806.8	2.3	220.6	5.9	4.6	145.3	85	8.7	83.1	10.1	1.8	11	18.3	32.9	36.5	22.4	118.3
桑名市	794.5	2.1	215.4	5.7	3.6	134.6	81.6	10	85.2	10	2.9	12.9	21.5	39.4	35.1	22.2	112.3
いなべ市	933.5	2.2	247.3	6.5	8.6	202.2	94.6	2.2	90.3	15.1	-	6.5	12.9	21.5	38.7	30.1	154.8
木曾岬町	639.8	14.5	218.1	14.5	-	101.8	72.7	-	58.2	-	-	14.5	14.5	-	58.2	-	72.8
東員町	689.5		201.4	3.9	3.9	112.3	89.1	15.5	65.9	3.9	-	7.7	11.6	27.1	34.9	15.5	96.8

死亡率 H18年 人口動態調査 死亡票 (確定数)

(参考)市町別・主要死因別年齢調整死亡率(人口10万対)

	[全死因 (率)]	Se01 (率)	Se02 (率)	Se14 (率)	Se15 (率)	Se16 (率)	Se21 (率)	Se25 (率)	Se26 (率)	Se27 (率)	Se28 (率)	Se29 (率)	Se30 (率)	Se31 (率)	Se32 (率)	Se34 (率)	その他
管内	395.89	0.96	120.44	2.83	1.81	64.97	37.08	3.76	32.72	4.58	0.68	6.97	7.23	10.22	22.45	19.28	59.91
桑名市	399.61	0.95	120.07	2.81	1.33	62.87	37.42	4.26	34.41	4.79	1.10	7.95	8.63	12.81	22.42	19.03	58.76
いなべ市	396.16	0.95	122.51	2.64	2.91	75.14	31.37	0.76	30.87	4.97	-	2.67	5.17	5.33	20.55	26.70	63.62
木曾岬町	340.69	4.66	126.98	8.86	-	48.87	39.38	-	26.84	-	-	7.72	4.66	-	41.86	-	30.86
東員町	389.40	-	116.09	2.81	2.49	60.84	45.68	9.16	28.77	2.49	-	9.48	4.80	10.24	19.36	13.38	63.81

死亡率 H18年 人口動態調査 死亡票 (確定数)

## 7.市町別・性別・悪性新生物部位別死亡数

	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸S状 結腸移行部及 び直腸	肝及び 肝内胆 管	胆のう及 びその他 の胆道	膵	気管、 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
管内	男	258	9	52	14	14	39	12	21	74	-	-	2	21
	女	174	1	29	13	6	19	12	20	28	14	8	4	20
桑名市	男	161	8	31	7	8	22	8	16	42	-	-	2	17
	女	104	1	16	7	4	11	9	10	17	11	7	2	9
いなべ市	男	64	1	12	4	5	13	2	4	21	-	-	-	2
	女	45	-	9	4	-	7	2	6	5	2	1	1	8
木曾岬町	男	8	-	2	-	1	1	-	-	4	-	-	-	-
	女	6	-	-	1	-	-	1	-	3	-	-	-	1
東員町	男	25	-	7	3	-	3	2	1	7	-	-	-	2
	女	19	-	4	1	2	1	-	4	3	1	-	1	2

死亡数 H18年 人口動態調査 死亡票 (確定数)

## 5. 医 務

医療法等関係法令に基づき、管内医療機関等の開設、変更・廃止等の事務手続きを行い、必要に応じて管内医療機関等への立入検査を実施し、構造設備等法令基準の適合について指導を行った。

### 1. 市町別医療関係施設数

(H20年3月31日 現在)

種別 市町別	合 計	病 院		一般診療所		歯 科 診療所	助産所		施術 所	歯 科 技工所
		一般	精神	有床	無床		有床	無床		
管内 計	426	13	4	16	122	89	1	3	142	36
桑名市	287	10	1	15	82	59	1	2	95	22
いなべ市	89	3	1	-	25	19	-	1	30	10
木曽岬町	9	-	-	1	2	2	-	-	4	-
東員町	41	-	2	-	13	9	-	-	13	4

### 2. 市町別病院病床数

(年度末)

区分 市町別	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平 成 19 年 度				
	施設 数	病床数	施設 数	病床数	施設 数	病床数	施設 数	病 床 種 別			
								計	一 般	療 養	精 神
管内 計	18	2,776	17	2,739	17	2,724	17	2,709	1,172	636	901
桑名市	12	1,627	11	1,627	11	1,627	11	1,615	846	533	236
いなべ市	4	641	4	623	4	608	4	605	326	103	176
木曽岬町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東員町	2	508	2	489	2	489	2	489	-	-	489

第3章 保健・医療・福祉資源の状況

3. 管内医療従事者数

	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士	計
平成12年	278	108	282	43	10	861	714	90	55	2,441
平成14年	276	102	306	48	11	913	760	94	53	2,563
平成16年	291	97	320	57	14	1,025	762	85	49	2,700
平成18年	312	106	358	58	21	1,127	765	128	54	2,929

(注) 2年に一度実施される医療関係従事者届による調査結果。

## 6. 栄養改善

### 1 給食施設数及び指導状況

健康増進法第22条に基づき、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設の栄養改善指導を実施した。

#### 巡回指導

	特定給食施設	一般給食施設	計
施設数	111	36	147
指導数	22	11	33

#### 給食従事者研修会

内容：講義「給食施設の衛生管理」「食事バランスガイドと食品表示について」

月日：平成19年9月13日

場所：桑名庁舎 第一会議室

参加者：給食施設の従事者 62名

### 2 食生活改善推進員数及び地区組織活動支援状況

地域における食生活改善のボランティアとして活躍している食生活改善推進員の地区組織活動の円滑な運営が行われることを目的に経験年数に応じた研修会を開催した。

#### 食生活改善推進員数 (平成20年3月31日現在)

市町名	計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町
会員数	576	250	206	18	102

#### 食生活改善地区組織支援研修支援

内容	回数	延受講者数
会員歴3～5年目研修	1	15
計	1	15

### 3 管内行政栄養士配置数及び技術支援状況

健康増進法第18条に基づき、市町栄養士の資質の向上と連携を図ることを目的に研修会及び技術支援を実施し、市町村栄養改善事業の円滑な推進を図った。

#### 管内市町栄養士設置状況

嘱託を含む。平成19年7月1日現在

	計	県保健福祉事務所	桑名市			いなべ市	木曽岬町	東員町
			桑名市	多度町	長島町			
平成16年	9	1	2	1	1	3	1	-
平成17年	8	1	4			2	1	-
平成18年	9	1	5			2	1	-
平成19年	8	1	4			2	1	-

#### 管内市町行政栄養士研修会開催状況

・実施回数 4回/年

## 7. 食品衛生

飲食に起因する衛生上の危害を未然に防止するため、食品施設の重点監視、夏期・年末年始の一斉監視、食品衛生専門監視班による製造業施設等の監視及び食品の収去検査を実施するとともに、各施設の食品衛生責任者に対する食品衛生講習会、その他専門業種・大規模施設従事者に対する衛生講習会を開催することにより、食品衛生思想の普及向上に努めた。

## 1. 食品関係施設数及び監視状況

## (1) 許可を要する施設

業種	項目	施設数	新規	更新	廃業	監視数
総数		3,979	473	435	345	1,462
飲食店営業		1,995	331	237	277	705
菓子(パンを含む)製造業		286	18	37	10	205
乳製品製造業		-	-	-	-	-
魚介類販売業		240	20	22	15	108
魚介類せり売営業		1	-	-	-	-
魚肉ねり製品製造業		3	-	1	-	5
食品の冷凍又は冷蔵業		14	-	4	-	18
かん詰びん詰食品製造業		6	-	2	-	6
喫茶店営業		610	38	56	5	29
あん類製造業		1	-	-	-	1
アイスcream類製造業		81	8	11	7	64
乳類販売業		372	32	30	15	94
食肉処理業		8	-	2	-	19
食肉販売業		244	22	12	13	111
食肉製品製造業		1	-	1	-	5
食用油脂製造業		1	-	1	-	-
みそ製造業		9	-	2	-	7
醤油製造業		6	-	1	-	5
ソース類製造業		4	-	1	-	10
酒類製造業		3	-	-	-	2
豆腐製造業		12	-	1	-	7
納豆製造業		2	-	1	-	4
めん類製造業		22	3	4	3	2
そうざい製造業		41	1	7	-	48
添加物製造業		2	-	1	-	-
清涼飲料水製造業		9	-	1	-	7
冰雪製造業		2	-	-	-	-
冰雪販売業		4	-	-	-	-

(2) 許可を要しない施設

総数		292	67
給食	学校	44	6
	病院・診療所	34	16
	事業所	19	1
	保育園・その他	91	24
食品製造業		102	20
添加物の製造業		2	-

2. 食品等の収去検査結果

区 分	収去検体数	不良検体数	不良理由(延数)		
			細菌	化学	その他
魚介類	24	5	5	-	-
魚介類加工品	3	0	-	-	-
肉、卵類及びその加工品	23	0	-	-	-
牛乳及び乳製品	0	-	-	-	-
穀類及びその加工品	6	0	-	-	-
野菜・果物類及びその加工品	31	0	-	-	-
菓 子 類	41	3	5	-	-
酒精飲料	1	0	-	-	-
その他の食品	165	13	18	-	-
小 計	294	21	28	-	-
保存食	0	-	-	-	-
器具等のふき取り検査	105	0	-	-	-

3. 食中毒発生状況

年 度	発生年月日	発生場所	摂食者数	患者数	原因食品	原因物質
平成15年度	10.7	いなべ市	1	1	フグ	フグ毒
	1.21	桑名市	22	15	生カキ	ノロウイルス
平成16年度	管内発生0件					
平成17年度	管内発生0件					
平成18年度	管内発生0件					
平成19年度	管内発生0件					

## 8. 環境衛生・薬事・動物取扱業関係営業施設

### 1. 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

環境衛生営業施設について、環境衛生監視員が各法令に基づきそれぞれ公衆衛生上遵守すべき事項について監視指導を行った。また、時代のニーズに対応した新しい施設が増加しつつあることから、営業の近代化、合理化のための必要な指導、助言を行った。

環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

区 分	理 容 所	美 容 所	ク リ ー ニ ン グ 所	公 衆 浴 場	興 行 場	旅 館 業	計
施 設 数	1 9 2	3 0 0	3 3 1	4 3	1 2	6 7	9 4 5
監視指導件数	4	1 6	2	2 3	1 1	1 9	7 5
開 設 数	1	8	2	2	4	1	1 8
廃 止 数	-	-	-	-	2	3	5

### 2. 薬事関係営業施設数及び監視指導状況

薬事関係法令の規定に基づき、薬局及び医薬品販売業者等への監視指導を行い、医薬品等の品質確保に努めるとともに、毒物劇物営業者及び麻薬取扱者等に対しても適正な取扱指導を行い危害の防止に努めた。

薬事関係営業施設数及び監視指導状況

業 種	施設数	監視数	
薬 局	97	85	
医薬品 販売業	(卸売)一般	12	9
	薬種商	16	8
	特例	10	2
薬局 医薬品	製造業	19	18
	製造販売業	19	18
高度管理 医療機器	販売業	56	38
	賃貸業	9	6
管理 医療機器	販売業	545	96
	賃貸業	22	2
毒物劇物	販売業	118	78
	届出	0	0
	製造業	5	6
計	928	366	

3. 動物取扱業営業登録施設数及び監視指導状況

動物の愛護及び管理に関する法律（平成17年6月22日改正）により18年6月1日より、動物取扱業は登録が必要になり、登録のあった施設の監視指導を行った。

動物取扱業営業登録施設数及び監視指導状況

年度	施設数	登録数	廃止数	監視指導件数
平成19年度	56	26	3	32

## 9. 民生委員・児童委員等配置状況

平成20年4月1日

### 1. 民生委員・児童委員数

	民生委員・児童委員		主任児童委員（内数）	
	定数	配置数	定数	配置数
桑名市	223	223	23	23
いなべ市	92	92	8	8
桑名郡	11	11	2	2
員弁郡	47	47	4	4
合計	373	373	37	37

### 2. 身体障がい者、知的障がい者相談員数

	身体障がい者相談員	知的障がい者相談員	計
桑名市	5	4	9
いなべ市	2	1	3
桑名郡	1	-	1
員弁郡	-	1	1
合計	8	6	14

## 10. 社会福祉施設

### 1. 社会福祉施設等の整備状況（市町別）

平成20年4月1日現在（単位：ヶ所）

設置区分	施設の種類の市町村名	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	計	備考
児童福祉法 (児童福祉施設)	助産施設	-	1	-	-	1	
	乳児院	-	-	-	-	-	
	母子生活支援施設	1	-	-	-	1	
	児童館	3	3	-	-	6	H20/4/30 開設を含む。
	児童養護施設	1	-	-	-	1	
	知的障害児施設	-	-	-	-	-	
	知的障害児通園施設	-	-	-	-	-	
	進行性筋萎縮症児療育委託施設	-	-	-	-	-	
	重症心身障害児委託施設	-	-	-	-	-	
	保育所	26	15	2	6	49	
	児童遊園	-	-	-	-	-	
	児童デイサービス事業所	1	-	1	-	2	
老人福祉法 (高齢者福祉施設)	養護老人ホーム	1	1	-	-	2	
	特別養護老人ホーム	4	2	1	1	8	
	軽費老人ホーム	-	-	-	-	-	
	ケアハウス	-	-	-	1	1	
	有料老人ホーム	2	-	-	2	4	
	老人福祉センター	4	2	1	-	7	
	老人憩いの家	-	1	-	-	1	
	デイサービスセンター	44	15	3	11	73	
障害者自立支援法 (障がい福祉サービス事業所) 他	在宅介護支援センター	3	-	1	-	4	
	指定療養介護事業所	-	-	-	-	-	
	指定生活介護事業所	2	2	-	1	5	
	指定就労移行支援事業所	1	-	-	-	1	
	指定就労継続支援（B型）事業所	1	1	-	-	2	
	指定自立訓練（機能訓練）事業所	-	-	-	-	-	
	指定自立訓練（生活訓練）事業所	-	-	-	-	-	
	指定施設入所支援事業所	-	-	-	-	-	
	指定相談支援事業所	-	2	-	-	2	
	グループホーム・ケアホーム	2	5	-	3	10	
	盲人ホーム	-	-	-	-	-	
	福祉ホーム	-	-	-	-	-	
	自閉症・発達障害支援センター	-	-	-	-	-	
	障害者就業・生活支援センター	1	-	-	-	1	
	知的障害者生活ホーム	-	-	-	-	-	
	障害者小規模作業所	8	-	1	-	9	
	旧身体障害者療護施設	-	-	-	-	-	
	旧身体障害者授産施設	-	-	-	-	-	
	身体障害者福祉工場	-	-	-	-	-	
	身体障害者小規模通所授産施設	-	-	-	-	-	
	旧知的障害者更生施設	1	-	-	-	1	
	旧知的障害者福祉工場	-	-	-	-	-	
	旧知的障害者授産施設	3	3	-	1	7	分場内数に含む
旧知的障害者通勤寮	-	-	-	-	-		
旧知的障害者小規模通所授産施設	2	-	-	-	2		
旧精神障害者生活訓練施設	-	1	-	-	1		
旧精神障害者通所授産施設	-	-	-	-	-		
旧精神障害者福祉ホーム（B型）	-	-	-	1	1		
旧精神障害者小規模通所授産施設	-	-	-	-	-		
その他	隣保館	2	-	-	-	2	

2. 児童福祉施設

(1) 保育所

管内市町における入所児童数は4,220人で、前年度より36人増加した。また、少子化の影響等もあってか、保育所入所率が91.9%であり、全体的にみて定員を満たさない状況が続いている。

入所児童の年齢構成を見ると、4歳児以上が49.0%、3歳児28.0%、1～2歳児21.5%、0歳児1.5%の順となっている。

平成20年4月1日現在

市町名	施設数	定員	入所児童数	年齢別内訳				学齢前児童数 0～5歳	整備率	僻地保育所	
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上			施設数	入所児童数
H18年度	箇所 47	人 4,545	人 4,259	人 62	人 870	人 1,219	人 2,108	人 12,144	% 37.4		
H19年度	48	4,585	4,184	81	868	1,245	1,990	11,985	38.3		
H20年度	49	4,590	4,220	63	908	1,181	2,068	11,532	39.8		
桑名市	26	2,610	2,579	55	607	706	1,211	7,908	33.0		
いなべ市	15	1,480	1,199	6	182	367	644	2,302	64.3		
木曾岬町	2	130	122	0	27	46	49	270	48.1		
東員町	6	370	320	2	92	62	164	1,052	35.2		
郡部計	8	500	442	2	119	108	213	1,322	37.8		

$$\text{整備率} = \text{保育所定員} / \text{学齢前児童数} \times 100$$

(2) 児童福祉施設(保育所を除く)

平成20年4月1日現在

施設の種別	施設名	市町名	定員
助産施設	いなべ総合病院	いなべ市	1
母子生活支援施設	桑名市山崎苑	桑名市	17
児童養護施設	エスペランス桑名	桑名市	30
児童デイサービス事業所	桑名市療育センター	桑名市	30
	児童デイサービス事業所あいあい	木曾岬町	10
児童館	いなべ市大安丹生川上児童館	いなべ市	
	いなべ市大安梅戸北児童館	いなべ市	
	いなべ市大安中央児童センター	いなべ市	
	桑名市深谷児童センター	桑名市	
	桑名市深谷北児童センター	桑名市	
	大型児童センター光のホール	桑名市	

3. 高齢者福祉施設

(1) 指定居宅サービス事業者等指定状況

平成20年4月1日現在

種 類		計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
指定居宅介護支援事業所		49	36	5	2	6
指定居宅サービス事業所	訪問介護	32	21	6	1	4
	訪問入浴介護	2	1	1	-	-
	訪問看護	8	4	3	-	1
	通所介護	73	44	15	3	11
	通所リハビリテーション	5	4	-	1	-
	訪問リハビリテーション	1	-	-	-	1
	短期入所生活介護	10	5	2	1	2
	特定施設入所者生活介護	2	1	1	-	-
	福祉用具貸与	9	6	2	1	-
介護保険施設	介護老人福祉施設	8	4	2	1	1
	介護老人保健施設	7	5	1	-	1
	介護療養型医療施設	5	5	-	-	-

(2) 在宅介護支援センター設置状況

平成20年4月1日現在

	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	計
基幹型	-	-	-	-	-
地域型	3	-	1	-	4
計	3	-	1	-	4

## 4. 障がい福祉サービス事業所

平成20年4月1日現在(単位:人)

施設の種類	施設名	市町名	定員	現員
指定生活介護事業所	桑名市障害福祉サービス桑名福祉センター	桑名市	15	10
	桑名市障害福祉サービス多度すこやかセンター	桑名市	6	4
	生活介護事業所あじさいの家	いなべ市	20	10
	いなべ市障害者活動支援センター	いなべ市	26	29
	生活介護ステーションTOINあーち	東員町	22	27
指定就労移行支援事業所	就労移行・継続B型来未 - KURUMI -	桑名市	6	6
指定就労継続 支援(B型)事業所	就労移行・継続B型来未 - KURUMI -	桑名市	14	2
	いなべ市障害者活動支援センター	いなべ市	10	7
指定相談支援事業所	いなべ市社協相談支援事業所	いなべ市	-	-
	相談支援事業アジサイ	いなべ市	-	-
グループホーム ・ケアホーム	グループホームあやめ	桑名市	24	17
	ケアホームつばさ	桑名市	4	4
	一体型指定共同生活介護等事業所グループハウス	いなべ市	6	6
	てまり花	いなべ市	20	19
	なでしこ1	いなべ市	6	2
	なでしこ2	いなべ市	10	9
	一体型指定共同介護等事業所高柳ホーム	いなべ市	4	4
	つくしの家	東員町	6	5
	ゆきわり草第1	東員町	4	4
	ゆきわり草第2	東員町	4	3
障害者就業・生活 支援センター	障害者就業・生活支援センターそういん	桑名市	-	-
障害者小規模作業所	桑名市みのり作業所	桑名市	19	14
	ワークショップみらい	桑名市	14	10
	ワークス・スクラム	桑名市	14	13
	夢工房	桑名市	10	10
	ひまわりワークス	桑名市	14	10
	さらい	桑名市	9	7
	ワークレーム桑友	桑名市	20	20
	千姫	桑名市	14	14
	木曾岬町さくら作業所	木曾岬町	9	9
旧知的障害者更生施設	くわのみ	桑名市	40	42
旧知的障害者授産施設	広陽園	桑名市	30	30
	ワークセンターのぞみ	桑名市	35	40
	夢の風	桑名市	20	14
	たんぼぼ作業所	いなべ市	20	20
	たんぼぼ作業所分場ふじわら作業所	いなべ市	15	14
	たんぼぼ作業所分場コスモス作業所	いなべ市	9	7
	東員いずみ作業所	東員町	20	18
旧知的障害者小規模 通所授産施設	くわのみ	桑名市	10	8
	バオバブの樹	桑名市	19	9
旧精神障害者生活 訓練施設	あじさい	いなべ市	20	15
旧精神障害者福祉 ホーム(B型)	福祉ホームB型TOUIN	東員町	20	16

## 11. 各種免許申請・取得状況

### 1. 医療・福祉従事者免許申請・交付状況

(平成19年度)

免許の種類	医師	歯科医師	保健師	助産師	看護師	診療放射線技師
申請数	15	5	3	2	110	1
免許の種類	臨床検査技師	衛生検査技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	歯科技工士
申請数	9	1	12	10	1	4
免許の種類	薬剤師	管理栄養士	准看護師 ( )内は県外分(内数)	栄養士		
申請数	20	19	51 (11)	41		

### 2. 調理師免許取得状況

年度	申込書数	受験者数	合格者数	合格率
平成14年度	131	117	73	62.4%
平成15年度	98	87	59	67.8%
平成16年度	86	73	60	82.2%
平成17年度	59	51	39	76.5%
平成18年度	86	81	61	75.3%
平成19年度	97	89	61	68.5%

### 3. 製菓衛生師免許取得状況

年度	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
平成14年度	8	7	5	71.4%
平成15年度	13	11	9	81.8%
平成16年度	5	5	4	80.0%
平成17年度	10	9	7	77.8%
平成18年度	31	25	14	56.0%
平成19年度	53	38	23	60.5%

## 12. 市町保健師配置状況

### 1. 保健師配置状況

平成20年4月1日現在

	計	県保健福祉事務所	桑名市			いなべ市	木曽岬町	東員町
			桑名市	多度町	長島町			
平成14年	46	7	9	4	6	13	3	4
平成15年	50	7	10	5	6	14	4	4
平成16年	52	8	10	5	6	15	4	4
平成17年	47	8	11	3	4	13	4	4
平成18年	49	7	18			13	6	5
平成19年	50	8	18			13	6	5
平成20年	53	10	19			14	6	4

社会福祉協議会、地域包括支援センターを含む

### 13. 身体障がい者福祉・知的障がい者福祉

#### 1. 身体障害者手帳所持者の障がい別状況

2市2郡における身体障害者手帳の所持者（児）数は6,639人であり、これを障がい別に見ると、視覚障がい6.5%、聴覚障がい9.7%、音声言語障がい1.0%、肢体不自由53.4%、内部障がい29.4%となっている。

##### 身体障害者手帳所持者の障がい別状況

平成20年4月1日現在（単位：人）

市町名	視覚障がい	聴覚平衡障がい	音声言語障がい	肢体不自由	内部障がい	計	うち児童
前年度	437	630	67	3,493	1,874	6,501	130
木曾岬町	13	9	4	95	66	187	1
東員町	51	70	9	387	207	724	13
小計	64	79	13	482	273	911	14
桑名市	266	359	38	2,103	1,238	4,004	91
いなべ市	100	206	15	963	440	1,724	30
管内計	430	644	66	3,548	1,951	6,639	135
構成比	6.5	9.7	1.0	53.4	29.4	100.0	-

#### 2. 療育手帳所持者の状況

2市2郡における療育手帳の所持者（児）数は1,039人であり、対前年比では2.6%の増加となっている。

等級別内訳では、A（最重度・重度）が0.8%の増、B（中度・軽度）が4.3%の増となっている。

##### 療育手帳所持者の状況

平成20年4月1日現在（単位：人）

市町名	等級 A	等級 B	計
平成17年	475 (127)	449 (118)	924 (245)
平成18年	491 (127)	494 (142)	985 (269)
平成19年	507 (118)	506 (158)	1,013 (276)
平成20年	511 (119)	528 (181)	1,039 (300)
木曾岬町	14 (1)	15 (6)	29 (7)
東員町	60 (6)	46 (16)	106 (22)
小計	74 (7)	61 (22)	135 (29)
桑名市	305 (80)	354 (120)	659 (200)
いなべ市	132 (32)	113 (39)	245 (71)
管内計	511 (119)	528 (181)	1,039 (300)
構成比	49.2	50.8	100.0

( )内は、児の内数

## 14. 精神保健福祉対策事業

### 1. 精神障害者地域生活支援事業

#### (1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業

	年度末人員	級 別 内 訳			
		1 級	2 級	3 級	
平成17年度	677	135	470	72	
平成18年度	751	146	515	90	
平成19年度	846	175	572	99	
平成19年度内訳	桑名市	632	132	435	65
	いなべ市	131	27	84	20
	木曽岬町	20	1	18	1
	東員町	63	15	35	13

#### (2) 精神障害者保健福祉相談指導事業

在宅の精神障がい者及びその家族に対し、社会復帰の促進や自立と社会参加の促進のための相談を行った。また、月1回は、専門医による精神保健福祉相談を行った。

年度	区分	面接件数		訪問件数		電話等件数
		実人員	延人員	実人員	延人員	延件数
平成17年度		93	123	41	93	773
平成18年度		79	221	44	118	950
平成19年度		110	162	47	56	322

### 2. 精神障害者社会復帰推進事業

#### (1) 精神障害者社会参加支援事業

##### 生活訓練（デイケア）

在宅精神障がい者の生活自立を目指し、社会復帰促進のために生活訓練を行った。

##### ア．デイケアの月別参加状況（ホワイトルームを除く）及び開催回数

区分	月別	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	開催回数
平成17年度		299	19	14	22	34	22	36	24	27	26	24	25	26	26
平成18年度		330	21	11	37	26	29	38	28	20	42	30	28	20	24
平成19年度		293	28	13	30	17	29	18	20	34	31	26	30	17	27

ボランティア・地域生活支援センター等 109名

##### デイケア参加者の社会復帰状況（ホワイトルームを除く）（H20.3.31現在）

年度	内訳	社会復帰	デイケア継続
平成17年度		1	23
平成18年度		0	33
平成19年度		2	26

## 第4章 障がい者保健福祉

### イ．フリースペース（ホワイトルーム）

在宅精神障がい者が自由に集い、過ごせる場所を提供し、精神障がい者同士の交流を図った。

開催回数：週2回 年 102回

参加者数：延べ 当事者528名

ボランティア・地域生活支援センター等 37名

デイケア等開催日

名 称	日 時
デイケア（はまぐり会）	毎月第1, 3, 5, 金曜日（9:30～15:00）
フリースペース（ホワイトルーム）	毎週 火、水曜日（9:30～15:00）

### ウ．ひきこもり当事者会（四日市保健所・鈴鹿保健所と共催）

開催回数：月1回 年 12回

参加者数：延べ 20名

### エ．家族教室（地域生活支援センターと共催）

開催回数：月1回 年 12回

参加者数：延べ 37名

## （2）普及啓発

### 精神保健福祉講座（ボランティア養成講座）

精神障がい者に対する誤解や社会的偏見を是正し、精神障がい者の社会復帰及び社会参加に対する地域住民の関心と理解を深める。

開催回数：1クール 7回 年1クール開催

参加者数：延べ 108名

内容：精神保健福祉に関する講義・体験実習等

## （3）地域支援ネットワークづくり

### 精神保健福祉学習会

精神保健福祉に関わる関係者の資質の向上を図るとともに各機関の役割について学ぶことで支援ネットワークの充実を図る。

実施回数：2回

対象：精神保健福祉関係職員

参加者数：40名

内容：精神疾患の理解について・精神障がい者ケアマネジメント

精神保健福祉連絡会：月1回 年 12回

定期的な連絡会議を開催し精神保健福祉に関わる関係機関との連携強化を図った。

### 精神保健福祉ボランティアへの支援

精神障がい者の支援体制整備のためNPO（精神保健福祉ボランティア）との協働体制の強化に努めた。

精神保健福祉ボランティア定例会への参加：月1回

小規模作業所の運営への支援協力

第4章 障がい者保健福祉

(4) 精神障害者通院患者リハビリテーション事業

精神障がい者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い再発防止と社会的自立を促進し、もって精神障がい者の社会復帰を図った。

年 度	奨励金(千円)	協 力 事 業 所	(訓練人数・月数・日数)
平成16年度	450	(有) フジタ	(1人・9月・225日)
	242	(株) 瀬古製作所	(1人・12月・121日)
	147	(有) 加藤商店	(1人・12月・73.5日)
	480	(有) ちなみ鍍金工業所	(1人・12月・240日)
	12	(有) イワタ	(1人・2月・6日)
	52	(株) 金星堂	(1人・2月・26日)
平成17年度	308	(株) 瀬古製作所	(2人・10月・154日)
	68	(有) 加藤商店	(1人・6月・34日)
	328	(有) ちなみ鍍金工業所	(1人・8月・164日)
	42	(有) イワタ	(1人・3月・21日)
	796	はあぶ工房	(2人・23月・398日)
平成18年度	460	はあぶ工房	(1人・12月・230日)
	43	(有) 加藤商店	(1人・6月・21.5日)
平成19年度	470	はあぶ工房	(1人・12月・235日)
	105	(有) 加藤商店	(1人・12月・52.5日)
	336	(有) 丹羽産業	(1人・9月・168日)
	86	(有) 丹羽産業	(1人・3月・43日)

第4章 障がい者保健福祉

3. 精神保健医療対策事業

(1) 通院医療費公費負担事務

(審査月別申請件数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成17年度	2,988	124	90	131	96	133	100	123	86	94	79	118	1,814
平成18年度	476	58	80	54	39	25	34	34	31	19	28	58	16
平成19年度	2,112	191	105	195	153	207	169	143	176	158	187	184	244

(年度末人員数)

市町名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
桑名市	1,343	1,504	1,435	1,438
木曾岬町	67	72	66	59
いなべ市	414	438	402	392
東員町	232	238	209	198
合計	2,056	2,252	2,112	2,087

(2) 精神保健措置事業

区分 年度	申請・通報件数					指定医診察結果		保護申請に基づく調査により		
	計	法23条	24条	法26条の2	法27条の2	法29条該当	29条非該当	他の福祉施設	指定医診察不要	その他
平成17年度	3	-	3	-	-	-	2	-	1	-
平成18年度	3	1	2	-	-	1	2	-	-	-
平成19年度	9	-	7	1	1	7	1	-	1	-

(3) 疾患別措置入院者の状況

(H20年3月31日現在)

性別	疾患別	総	統合失調症	そううつ病	心因反応	非定型精神病	てんかん	知的障害	神経衰弱	アルコール	性精神病	その他
		数										
総計	男	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

15. 障害者小規模作業所事業費補助金

就業又は一般企業に雇用されることが困難な障害者及び社会参加の機会が必要な在宅の障害者に対し、集団による作業活動・訓練、創作活動、生活交流の場を提供するとともに、生活指導、作業指導等必要な指導支援を行い、障害者の社会参加の促進及び社会的自立と福祉の向上を図る小規模作業所に対し経費を支弁する市町に補助を行った。

年度	補助作業所数	金額
平成18年度	9箇所 (内訳) 桑名市 8箇所 木曾岬町 1箇所	24,738千円
平成19年度	9箇所 (内訳) 桑名市 8箇所 木曾岬町 1箇所	25,415千円

平成18年度より心身障害者小規模作業所事業費補助金と精神障害者共同(小規模)作業所運営費補助金が廃止され、障害者小規模作業所事業費補助金となりました。

16. 母子保健関連事業

1. 母子保健対策事業

(1) 未熟児訪問事業

母子保健法では、出生体重が2500g未満の乳児を低体重児としており、未熟児は生理的に未熟であり、疾病にもかかりやすいことから、同法第19条により訪問指導を行い、必要な処置を行った。

	管内計	桑名市			いなべ市				木曾岬町	東員町
		桑名市	多度町	長島町	北勢町	員弁町	大安町	藤原町		
平成16年度	総数	151	66	9	18	37			4	17
	要訪問児(A)	30	11	3	5	6			1	4
	(A)%	19.9	16.7	33.3	27.8	16.2			25.0	23.5
	訪問実施件数(B)	38	16	4	4	9			3	2
	(B)%	25.2	24.2	44.4	22.2	24.3			75.0	11.8
平成17年度	総数	170	108			47			1	14
	要訪問児(A)	38	25			9			0	4
	(A)%	22.4	23.1			19.1			-	28.6
	訪問実施件数(B)	46	27			14			0	5
	(B)%	27.1	25.0			29.8			-	35.7
平成18年度	総数	161	106			39			5	11
	要訪問児(A)	63	44			12			2	5
	(A)%	39.1	41.5			30.8			40.0	45.5
	訪問実施件数(B)	45	30			9			1	5
	(B)%	28.0	28.3			23.1			20.0	45.5
平成19年度	総数	180	120			45			0	15
	要訪問児(A)	57	32			23			0	2
	(A)%	31.7	36.7			51.1			-	16.7
	訪問実施件数(B)	67	43			21			0	3
	(B)%	37.2	35.8			46.7			-	20.0

注：要訪問児 出生時体重が2000g以下の児  
 (A)・(B)は総数に対する比率  
 訪問実施件数は、実件数。

(2) 健やか親子支援事業

事業の目的

心身の発達に問題を抱える子ども及び養育問題を持つ保護者とその子どもに対して、必要とする支援内容を明確化にし、状況に応じた適切な助言・指導を行い、養育問題の負担軽減を図る。また関係機関との調整を図ることにより、地域で安心して生活できるよう支援した。

実施内容

(ア) 面接相談

小児慢性特定疾患等の医療費給付申請時に面接を行い、家族の抱える問題点の把握を行った。相談は長期療養児・手術が必要な児の保護者からが多く、特に小児慢性特定疾患・育成医療等の医療費の補助に関する内容のものが多かった。

(イ) 家庭訪問

従来から行っている未熟児訪問については、管内市町や医療機関等の関係機関と連携しながら行った。

継続的な個別フォローが必要であるケースへの支援については、児の発育・発達に問題のある場合のみならず、母親への育児支援が重要であり、母親が地域で孤立しないよう、必要な時に必要なところへ相談できるような支援を行った。

	妊産婦	未熟児	乳児 (未熟児除く)	幼児	その他
実件数	58	67	5	5	0
延件数	66	78	8	13	0

(ウ) 研修会・関係機関連絡会議

内容	対象	開催回数	参加人数
(虐待予防) 連絡調整・ネットワーク会議	虐待防止事業担当者、学校関係者、医療関係者、保健福祉関係者等	9回	延べ 255人
(母子保健体制の整備) 桑名乳幼児健診検討委員会	管内小児科医師、産婦人科医師、病院MSW、保健師等	8回	延べ 119人
(母子保健体制の整備) 桑名保健所管内母子保健担当者会議	管内母子保健担当保健師	6回	延べ 53人

考察及び課題

虐待のハイリスク要因と言われる育児不安の問題が深刻化している中、特に母子保健分野ではハイリスクケースの支援を通して虐待の予防に寄与することが求められている。

各制度の申請時に、療養上の不安を訴える家族も少なくはないため、申請時面接を充実させ育児不安の軽減を図ることが益々必要である。

さらに活動の充実には市町及び関係機関との連携が不可欠であるため、連携を密に予防的支援に努めることも必要である。

2. 母子医療対策事業

(1) 育成医療

身体障がい児にとっては、早期発見・早期治療はきわめて重要である。このため、障害者自立支援法第52条により、18歳未満の児童で、このまま放置すれば将来日常生活にかなりの支障を残すと見られる障がいを有しているが、手術をすることで確実な治療効果の期待できるものに対し、医療給付を行った。

	総計	肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声言語機能障害	先天性心臓障害	腎臓障害	その内臓の障害他	免疫機能障害	小腸機能障害
平成16年度	151	24	26	2	35	24	2	38		
平成17年度	184	21	32	6	54	19	9	43		
平成18年度	109	8	19	1	31	25	1	20	0	4
平成19年度	75	13	11	2	20	15	2	11	0	1

平成19年度内訳

桑名市	46	10	6	1	10	8	0	10	0	1
いなべ市	18	2	4	1	5	4	2	0	0	0
木曾岬町	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0
東員町	8	0	1	0	5	2	0	0	0	0

(2) 養育医療

身体の発育が未熟のまま出生し、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至っていないため、入院養育が必要と認められる1歳未満の乳児に対し、母子保健法第20条による医療給付を行った。

	総計	桑名市			いなべ市	木曾岬町	東員町
		桑名市	多度町	長島町			
平成15年度	37	19	-	-	8	2	8
平成16年度	30	17	1	2	4	1	5
平成17年度	45	32	8	0	5		
平成18年度	38	28			8	2	0
平成19年度	49	35			13	0	1

(3)小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち特定疾患については、治療が長期にわたるため、医療費の負担が高額となる。これを放置することは、児童の健全な育成を阻害することとなるため、小児慢性特定疾患の治療研究事業を行い、もってその研究を推進し、その医療の確立と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担軽減を図った。

市 町 別 疾 患 別	総 計	桑名市			いなべ市	木曾岬町	東員町
		桑名市	多度町	長島町			
平成15年度	194	113	7	13	36	5	20
平成16年度	199	137	1	2	33	5	21
平成17年度	182	128			29	2	23
平成18年度	210	143			39	3	25
平成19年度	213	149			38	4	22
19年度内訳	悪性新生物	36	19		11	1	5
	慢性腎疾患	17	11		6	-	-
	慢性呼吸器疾患	5	4		-	-	1
	慢性心疾患	22	16		2	1	3
	内分泌疾患	100	74		16	1	9
	膠原病	4	2		-	1	1
	糖尿病	7	5		1	-	1
	先天性代謝異常	3	3		-	-	-
	血友病等血液疾患	7	6		1	-	-
	神経・筋疾患	3	2		1	-	-
慢性消化器疾患	9	7		-	-	2	

(4)特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微受精（以下「特定不妊治療」という。）については、1回の治療費が高額であり、経済的負担が重いことから、十分な治療が受けられず、望んでいるにも関わらず子どもに恵まれない方も少なくない。このことにより、平成16年度から特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

	総 計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
平成16年度	41	27	9	2	3
平成17年度	46	33	5	0	8
平成18年度	75	52	16	1	6
平成19年度	151	104	32	3	12

### 17. 結核予防

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

#### 1. 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

##### (1) 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成19年1月1日～平成19年12月31日

病型別 年齢区分	計			活動性結核										(別掲) 潜在性 結核感染症				
				肺結核活動性									肺外結核 活動性					
				喀痰塗抹 陽性			その他結核 菌陽性			菌陰性・ その他								
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女				
計	52	28	24	17	10	7	6	3	3	15	11	4	14	4	10	2	1	1
0才～4才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
5才～9才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10才～14才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15才～19才	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20才～29才	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
30才～39才	5	2	3	1	-	1	-	-	-	3	1	2	1	1	-	-	-	-
40才～49才	5	2	3	2	1	1	2	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
50才～59才	5	5	-	2	2	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-
60才～69才	7	3	4	3	1	2	-	-	-	2	2	-	2	-	2	-	-	-
70才以上	28	15	13	8	5	3	4	2	2	6	5	1	10	3	7	1	-	1

##### (2) 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成19年12月31日現在

病型別 区分	計			活動性結核						不活動性 結核	活動性 不明
				肺結核活動性					肺外結核 活動性		
				計	喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性、その他				
計	98	27	11	6	10	11	50	10			
入院中	4	4	3	-	1	-	-	-			
外来治療中	33	22	8	6	8	11	-	-			
治療なし	60	-	-	-	-	-	50	10			
不明	1	1	-	-	1	-	-	-			

第6章 疾病対策

(3)市町別結核登録患者の状況

平成19年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核				不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性			活動性結核の有病率	
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				18年	19年
管内計	98	11	6	10	11	50	10	14.2	17.3
桑名市	69	6	4	7	8	34	10	15.0	17.8
いなべ市	17	3	2	1	-	11	-	17.2	12.9
木曽岬町	3	1	-	-	-	2	-	-	14.6
東員町	9	1	-	2	3	3	-	7.7	23.3

(4)市町別結核新登録患者の状況

平成19年1月1日～平成19年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					肺外結核	罹患率	(別掲)潜在性結核感染症
		肺結核活動性計	肺結核活動性			肺外結核			
			喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				
管内計	52	38	17	6	15	14	23.7	2	
桑名市	34	25	10	4	11	9	24.2	-	
いなべ市	10	8	5	1	2	2	21.4	-	
木曽岬町	2	1	1	-	-	1	29.2	-	
東員町	6	4	1	1	2	2	23.3	2	

第6章 疾病対策

2. 結核検診実施状況

項目		予防接種				胸部エックス線撮影		かくたん 検査者数	結核患者 発見者数
		対象者数	ツ反心 検査者数	陽性者数	B C G 接種者数	対象者数	受診者数		
定期	計	2,515	-	-	1,884	19,579	18,423	3	-
	事業者	-	-	-	-	5,911	5,892	-	-
	学校長	-	-	-	-	1,807	1,802	-	-
	施設の長	-	-	-	-	589	588	-	-
	市町長	2,515	-	-	1,884	11,272	10,141	3	-
定期外	計		8	6	-		147	-	-
	接触者		-	-	-		58	-	-
	患者家族		8	6	-		82	-	-
	患者管理		-	-	-		7	-	-

3. 市町別一般住民結核健康診断実施状況

項目	住民健診対象者数 (A)	B C G 対象者数 (B)	B C G 接種人員 (C)	(C) / (B) %	胸部エックス線撮影				結核患者発見数 (G)	(G) / (D) %
							受診人員 (D)	(D) / (A) %		
					間接撮影数	直接撮影数				
市町別										
計	11,272	2,515	1,884	74.9	9,358	783	10,141	90.0	-	-
桑名市	3,111	1,913	1,303	68.1	3,106	5	3,111	100.0	-	-
いなべ市	4,440	388	388	100.0	4,185	-	4,185	94.3	-	-
木曽岬町	2,102	35	34	97.1	448	778	1,226	58.3	-	-
東員町	1,619	179	159	88.8	1,619	-	1,619	100.0	-	-

第 6 章 疾病対策

4. 感染症診査協議会における結核医療診査状況

(1) 感染症法第 37 条の 2 申請診査件数

区分	保険別 計	被用者保険		国保	老保	生保	その他
		本人	家族				
申請件数	58	9	5	13	31	0	0
合格件数	58	9	5	13	31	0	0
承認件数	58	9	5	13	31	0	0

(2) 感染症法第 37 条申請診査件数

申請別 区分	計	新規申請	継続申請	解除申請
申請件数	41	21	0	20
合格件数	41	21	0	20
承認件数	41	21	0	20

5. 感染症診査協議会委員名簿 (順不同)

平成 20 年 4 月 1 日現在

氏 名	役 職 名
北川 良子	桑名市民病院 内科
笠井 寛司	笠井内科 院長
菅原 望	いなべ総合病院 内科
伊藤 久子	人権擁護委員

6. 結核健康相談開催

定期外健診及び管理健診

毎月第 1、3 週の木曜日 午後 2 時 30 分から午後 3 時 受付

7. 四日市社会保険病院との DOTS カンファレンス実施

・月 1 回 第 月曜日 15:00 ~

### 18. 感染症予防

#### 1. 感染症予防

感染症発生時において、患者調査と家族、接触者検診の実施および感染拡大防止のための措置を講じた。また、医療機関からの行政検査依頼に応じた。

##### (1) 二類・三類感染症発生状況（結核以外）

種別 年度	二類感染症			三類感染症				
	重呼 症吸 急器 性症 候 群	急 性 灰 白 髄 炎	ジ フ テ リ ア	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 大 管 出 血 性 感 染 症
平成15年度	-	-	-	-	1	-	-	5
平成16年度	-	-	-	-	-	-	-	26
平成17年度	-	-	-	-	-	-	-	5
平成18年度	-	-	-	-	-	-	-	5
平成19年度	-	-	-	-	-	1	-	4

##### (2) 二類・三類感染症対策検査実施状況（結核以外）

	実検体数	二類			三類				
		重呼 症吸 急器 性症 候 群	急 性 灰 白 髄 炎	ジ フ テ リ ア	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 大 管 出 血 性 感 染 症
医療機関及び 検査機関等	4 (2)	-	-	-	-	-	1 (1)	-	3 (1)
海外渡航に係 わる検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家族及び接触者	6	-	-	-	-	-	6	-	-
菌陰性化検査	2	-	-	-	-	-	-	-	2
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	12 (2)	-	-	-	-	-	7 (1)	-	5 (1)

( )内は陽性者数を再掲（内数）

## 第6章 疾病対策

### 2. エイズ予防事業

#### (1) エイズ対策促進事業

##### 1) 桑名駅前キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成19年11月30日(金) 7:40~8:20	桑名駅東口 ロータリー周辺	保健所職員 6名	啓発用パンフレット150冊及 び啓発ティッシュ1,000個 配布

##### 2) 世界エイズデー講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成20年1月19日(土) 14時~16時 くわなメディアライブ	一般住民 学校関係者 保健福祉医 療関係者 行政	61人	講演 「HIV/エイズと生きる~医療現場(予防 と治療)から見つめて」 講師 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター止血・血栓研究部長/血 液内科医長 濱口 元洋 氏

#### (2) エイズ採血検査、電話相談者数

	性別	件数	計
エイズ相談	男	86	144
	女	58	
エイズ検査	男	84	138
	女	54	

#### (3) エイズ相談・採血実施日

毎週火曜日 午後1時~午後2時30分

### 3. 予防接種

#### (1) 市町別予防接種実施状況

区分 市町名	定				期			
	二種混合	三種混合	急性灰白髄炎 (ポリオ)	麻疹 風疹	麻疹 のみ	風疹 のみ	日本脳炎	インフル エンザ
桑名市	940	5,267	2,629	2,569	0	7	3,456	15,119
いなべ市	388	1,526	726	769	0	0	1,338	5,894
木曽岬町	51	155	72	76	0	0	76	644
東員町	166	832	394	435	0	0	1,069	2,546
計	1,545	7,780	3,821	3,849	0	7	5,939	24,203

## 19. 難病対策関係事業

### 1. 難病在宅ケア事業

#### 1) 事業の目的

難病患者の在宅ケアには、包括的な支援体制が必要である。そのため患者・家族の療養上の不安の軽減を図るとともに、療養者が地域で安心して暮らせるように関係機関との連携の元在宅ケア支援体制を整備する。

#### 2) 事業の内容

##### (1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

個別の状況に応じた適切な支援体制の整備と関係者間の連携を図るため、ケア会議を開催し、在宅療養支援計画の策定・評価を行った。

ケア会議	内 容	出席者	場所
事例 1	「在宅療養生活の支援について」 ・現状と問題点の整理 ・利用できるサービス、制度の紹介 ・今後の方向性の検討	患者・家族 ヘルパー ケアマネージャー 保健師 計5名	患者宅
事例 2	「退院後の療養生活について」 ・現状把握と問題点の整理 ・関係者間の支援目標の共有と連携強化 ・今後の支援体制の調整	患者・家族 ケアマネージャー 訪問看護師 保健師 計5名	患者宅
事例 3	「在宅療養生活の問題解決に向けて」 ・現状と問題点の整理 ・支援者の不安の軽減 ・緊急時の対応 ・各支援者の支援上の工夫等についての情報交換と共有	患者・家族 各デイサービスセンター 一介護士・指導員3名 訪問理学療法士 町保健師 保健所保健師 計8名	患者宅

##### (2) 医療相談事業

難病患者・家族の療養上の不安軽減を図るため専門医等による医療相談を行った。

神経内科系疾患については医療相談とともにリハビリ相談の個別相談を実施した。また、整形外科系疾患、消化器系疾患については専門医等の講演会を交えた相談会として実施した。

神経難病医療相談会・リハビリ相談

実施年月日：平成19年10月11日

対象者：特定疾患受給者

多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変症、パーキンソン病関連疾患、多系統萎縮症

内 容：個別相談

医療相談：菰野厚生病院 神経内科医

リハビリ相談：菰野厚生病院 理学療法士

参加状況：患者 6名 家族 5名 計 11名

医療相談 6件

リハビリ相談 4件

## 第6章 疾病対策

### 神経難病音楽療法

実施年月日：平成19年10月25日

対象者：特定疾患受給者

多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変症、パーキンソン病関連疾患、多系統萎縮症

内容：音楽療法

音楽療法士1名及びアシスタント2名

参加状況：パーキンソン病関連疾患患者 3名

### 整形難病医療相談会

実施年月日：平成19年10月16日

対象者：特定疾患受給者

後縦靭帯骨化症、特発性大腿骨骨頭壊死症、広範性脊柱管狭窄症

内容：講演会と質疑応答

三重大学医学部整形外科 講師

参加者（桑名管内のみ）：37名（8名）

### I B D医療相談会

実施年月日：平成19年11月20日

対象者：特定疾患受給者

潰瘍性大腸炎、クローン病

内容：講演会と質疑応答

四日市社会保険病院 外科医長

四日市社会保険病院 管理栄養士

参加者（桑名管内のみ）：65名（21名）

### （3）訪問相談

多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症等の神経難病重症患者を中心に継続訪問を実施した。訪問希望者、病院等関係機関から依頼のあったケースについては確実に訪問した。 訪問実人員 7人、延人員16人

### （4）看護従事者研修会

神経難病疾患と患者支援について理解を深め、資質の向上を図ることを目的に訪問看護ステーションの職員を対象に実施した。また、研修場所を神経難病専門病棟のある病院で実施することで、病院との連携のきっかけになることをねらった。

実施年月日：平成19年11月7日

実施場所：独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

対象者：北勢管内の訪問看護ステーション職員

内容：神経難病専門医及び神経難病病棟師長の講義  
病棟実習、ディスカッション

参加者（桑名管内のみ）：8名（1名）

### （5）難病相談支援センター事業への協力

実施年月日：平成19年8月5日

実施場所：長島ふれあい学習館

内容：桑名地域難病相談会（疾患別相談会）

参加状況：49名

## 第6章 疾病対策

### 2. 特定疾患治療研究事業

いわゆる難病のうち特定疾患は治療がきわめて困難であり、長期の療養を要し、かつ、その医療費も高額であるので、これらの患者の自己負担を軽減し、治療の促進を図ることを目的として医療給付を行っている。

疾患別	市 町	総 数	内 訳			
			桑 名 市	いなべ市	木曾岬町	東 員 町
平成 19 年度		1018 (149)	661 (104)	210 (30)	30	117 (15)
1 ベーチェット病		25 (7)	14 (5)	10 (1)	-	1 (1)
2 多発性硬化症		29 (8)	16 (1)	7 (5)	1	5 (2)
3 重症筋無力症		22 (1)	13	3 (1)	3	3
4 全身性エリテマトーデス		80 (1)	54 (1)	14	2	10
5 スモン		1 (1)	1 (1)	-	-	-
6 再生不良性貧血		25	18	5	-	2
7 サルコイドーシス		19 (1)	10 (1)	5	-	4
8 筋萎縮性側索硬化症		15 (7)	11 (6)	2	-	2 (1)
9 強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎		79 (3)	55 (2)	14 (1)	2	8
10 特発性血小板減少性紫斑病		31	21	9	-	1
11 結節性動脈周囲炎		8 (1)	8 (1)	-	-	-
12 潰瘍性大腸炎		210 (2)	135 (1)	36 (1)	8	31
13 大動脈炎症候群		7	5	1	-	1
14 ビュルガー病		6 (1)	3	2 (1)	1	-
15 天疱瘡		13	10	2	1	-
16 脊髄小脳変性症		24 (18)	14 (11)	6 (3)	-	4 (4)
17 クローン病		44	33	9	-	2
18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎		-	-	-	-	-
19 悪性関節リウマチ		12 (6)	8 (6)	3	-	1
20 パーキンソン病関連疾患		131 (44)	93 (37)	25 (6)	2	11 (1)
21 アミロイドーシス		1	1	-	-	-
22 後縦靭帯骨化症		56 (12)	29 (6)	20 (5)	1	6 (1)
23 ハンチントン病		2 (1)	2 (1)	-	-	-
24 モヤマヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)		15 (2)	10 (1)	-	1	4 (1)
25 ウェゲナー肉芽腫症		2	-	1	-	1
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症		27 (5)	12 (4)	10 (1)	-	5
27 多系統萎縮症		22 (14)	12 (7)	6 (4)	-	4 (3)
28 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)		-	-	-	-	-
29 膿疱性乾癬		3	1	1	-	1
30 広範脊柱管狭窄症		9 (2)	4	3 (1)	1	1 (1)
31 原発性胆汁性肝硬変		28	21	3	2	2
32 重症急性膵炎		1 (1)	1 (1)	-	-	-
33 特発性大腿骨骨頭壊死症		15	12	1	1	1
34 混合性結合組織病		9	3	3	1	2
35 原発性免疫不全症候群		-	-	-	-	-
36 特発性間質性肺炎		4 (1)	4 (1)	-	-	-
37 網膜色素変性症		38 (9)	22 (9)	9	3	4
38 プリオン病		1 (1)	1 (1)	-	-	-
39 原発性肺高血圧症		2	2	-	-	-
40 神経線維腫症		-	-	-	-	-
41 亜急性硬化性全脳炎		-	-	-	-	-
42 パット・キアリ症候群		1	1	-	-	-
43 特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)		1	1	-	-	-
44 ライソゾーム病(ファブリ 病含む)		-	-	-	-	-
45 副腎白質ジストロフィー		-	-	-	-	-

(( )内の数字は重症者数)

## 20. 骨髄バンク事業

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンク事業が円滑に実施されるよう骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、ドナー（骨髄提供者希望者）の登録受付を実施した。

なお、平成10年度から、桑名保健所にドナー登録受付窓口を開設している。

- 1) 窓口開設日 : 毎週火曜日 午前9時30分～午前11時00分
- 2) 平成19年度登録者 : 18名

## 21. 原子爆弾被爆者援護

### 1. 被爆者医療

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾が投下された際、広島市、長崎市とこれに隣接する区域内にあった者、その他身体に放射能の影響を受けるような事情下にあった者、当時その者の胎児であった者について年2回の定期健康診断を実施し、被爆者の健康管理に努めた。

#### (1) 原爆被爆者健康診断実施状況

	第1回(19.5.21～18.6.2)	第2回(19.11.5～19.11.17)
対象者	68	68
受診者数	37	34

#### (2) 各種手当支給状況

平成19年度分

医療特別手当	特別手当	小頭症手当	健康管理手当	保健手当	家族介護手当
1	1	-	47	5	-

#### (3) 被爆者がん検診

平成19年度分

受診種目	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性骨髄腫	大腸がん
受診者数	11	12	3	3	10	10

## 22. たばこ対策

たばこ対策について普及啓発を行うとともに、関係者が積極的に取り組んでいけるよう支援を行います。

また、地域の実情に応じた受動喫煙防止対策、禁煙支援を実施し、たばこ対策を推進します。

### 1. 啓発活動

#### 1) 「世界禁煙デー」「禁煙週間」の啓発

世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施

- ・日時 平成19年5月31日 午前7時40分～8時30分
- ・場所 JR東海桑名駅前ロータリー
- ・内容 ポケットティッシュ500個 配布

関係機関へ啓発グッズ（ポケットティッシュ）の配布 750個

- ・配布先 管内医師会、管内薬剤師会、管内高校、食品衛生関係者、庁舎来庁者等

### 2. 受動喫煙防止対策

#### 1) 「たばこの煙のないお店」認証制度の実施

認証店：42店舗(平成20年3月現在)

平成18年6月から県が食品衛生協会に委託を行い、県内全域で実施している「たばこの煙のないお店」認証制度により、飲食店での受動喫煙防止を啓発した。

### 3. 禁煙支援

#### 1) 桑名保健福祉事務所ホームページ、パンフレット等にて禁煙支援医療機関を公表した。

禁煙支援医療機関 17機関

禁煙支援医療機関実態調査の実施（外来日・保険適用の有無、予約の要否等）

#### 2) 市町や企業で禁煙教育・相談事業を実施

月日・場所	参加者	内容
10月12日 東員町保健福祉センター	東員健康づくりいきいき隊 スタッフ 8名	健康教育
10月24日 東員病院	職員 33名	健康教育

## 23. こころの健康づくり

### 1. こころの健康づくり研修会

目 的：こころの健康問題について、地域住民に普及啓発を行った。

対 象：一般住民、医師会会員

< 日時・内容・場所・受講者数 >

日 時	内 容	場 所	受講者
平成19年 11月18日（日）	講義「健康は笑いから」 ～笑いとユーモアで心身を健康に～ 講師 岐阜聖徳学園大学 橋元 慶男	くわな メディアライヴ	90名

### 2. こころの健康づくり教育

< 日時・内容・場所・参加者数 >

日 時	依頼先	内容	参加者
第1回 平成19年7月11日（水）	ヤマモリ（株）	メンタルヘルスの 基礎知識	19名
第2回 平成19年10月25日（木）	介護認定調査員	メンタルヘルスケア について	46人

### 3. 平成20年度の方針、実施計画

平成20年度は、県の方針に準じ職域にメンタルヘルス対策を展開していく。また、管内市町が主体となってリスナー養成を実施していくことになるので、市町支援を行いながら、すでに修了したリスナーへの継続研修を充実させていくとともに、普及啓発事業を実施していく。

具体的には

- 1 職域にむけての働きかけ
- 2 こころの健康づくり研修会
- 3 市町村支援

## 24. 「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業

### - 地域・職域連携による健康づくりネットワーク事業 -

生活習慣病の急増する中、地域保健と職域保健が連携し、健康教育、健康相談、健康審査等の保健事業による一生涯を通じた効果的・効率的な保健事業の展開が求められている。

そこで、桑員地域では、平成17年度から、住民、企業、関係団体、行政等から構成する「『ヘルシーピープルそういん・21』地域・職域連携推進協議会」を設置し、健康なまちづくり及び地域活性化を目標に、地域保健と産業保健の連携による健康づくりのネットワーク構築に取り組んできた。

#### 1. 平成19年度の取り組み

##### (1) 第1回地域・職域連携推進協議会の開催

日時：場所 平成19年8月30日(木) 桑名庁舎附属棟 第2会議室

内容 今年度の取組テーマを決定した。(平成19年度・20年度取組骨子)

##### 〔大目標〕

「平成20年度からの特定健診・特定保健指導を活かした健康づくりを推進する」

平成20年度からの特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向け、地域・職域連携推進事業の更なる推進を図りながら、特定健診・特定保健指導を活かした桑員地域全体の健康づくりに取り組む。

##### 〔小目標〕

目標1：特定健診・特定保健指導に関する情報交換・情報収集を行い、研修会等を開催することで、協議会・プロジェクトチーム間の共通認識と情報の充実を図る。

目標2：特定健診・特定保健指導について、協議会に参加している各関係者の連携を活かして、桑員地域の住民、事業所、関係者等に広く「周知」を図る。

##### (2) 第1回「特定健診・特定保健指導」に関する講演会の開催

テーマ「平成20年度からの特定健診・特定保健指導を活かした健康づくり」

日時・場所 平成19年8月30日(木) 桑名庁舎 3F 第1会議室

講師 四日市看護医療大学 学長 河野 啓子氏

内容 新健診体制に至る経緯と主旨、新体制を活かした健康づくりについて

実施結果 参加者数：69名(事業所19%、医療関係36%、行政関係22%、他23%)

##### (3) 第2回地域・職域連携推進協議会の開催

日時・場所 平成20年2月21日(木)

くわなメディアライヴ 多目的ホール

内容 平成19年度事業報告及び平成20年度事業計画の承認。

##### 〔平成20年度実施計画〕

1. フォーラムの開催：関係機関とのネットワークを図りながら開催する。

2. 事業所への「出前講座・出前相談」の試験的な実施。

3. 「特定健診・特定保健指導」等の情報交換・情報共有を図る。

(4) 平成19年度 健康づくりフォーラムの開催

テーマ「新しい健診制度『特定健診・特定保健指導』がはじまります。」

開催日時・場所 平成20年2月21日(木) くわなメディアライヴ  
基調講演「メタボリックシンドロームの予防・改善につながる健康づくりとは」

【講師】 富士通(株)三重工場健康推進センター長 草川 真弓氏  
桑員地区の働く世代の健康づくり連携事業報告【報告者】副会長 吉田 勝利氏  
パネルディスカッション「いかそう健診！新健診制度『特定健診・特定保健指導』」

【コーディネーター】 三重産業保健推進センター所長 和田 文明氏

【助言者】 富士通(株)三重工場健康推進センター長 草川 真弓氏

【パネラー】 連合三重桑員地域協議会事務局長 菅野 紀男氏

(社)桑名法人会厚生担当副会長 (株)青山製作所 青山 茂孝氏

桑名医師会会長(地域・職域連携推進協議会会長) 新山 宏二氏

桑名市役所保健福祉部長 内田 省己氏

実施結果 参加者数：95名

(5) 「ヘルシーピープルそういん・21」プロジェクトチームの事業実績

第1回プロジェクトチーム会議 平成19年9月6日(木)

・グループワーク「協議会で決定された目標の具体的な実施に向けて」

第2回プロジェクトチーム会議 平成19年11月21日(水)

・講座「特定健診・特定保健指導」のトピックス等の情報

話題提供 三重県健康福祉部生活保障室国民健康保険G 主幹 増田 伸子氏

・情報交換 メンバーからの事前課題提出資料をもとに協議を行った。

第3回プロジェクトチーム会議 平成20年 1月22日(火)

・講座「特定健診・特定保健指導に関するこれからの取組とは」

講師 三重産業保健推進センター所長 和田 文明氏

・情報交換：事前課題提出資料を基に、次年度の実施計画企画案の協議を行う。

その他の取組について

・メーリングリストの作成：プロジェクトチームメンバー間の情報共有を図る。

・「特定健診・特定保健指導」の周知度の実態把握のためのアンケート調査。

【調査期間】平成19年11月13日～12月15日

【調査方法】桑員地域の事業所(チームメンバーの調査票配布可能な事業所)

【回収数】回答事業者数は73事業所。回収数158件(従業員85名含む)

・地域・職域連携推進協議会ホームページ「ヘルシーピープルそういん・21」  
の情報更新を行い、地域・職域双方の情報の提供と共有化を図った。

## 25. 保健栄養

少子・高齢化が本格化する中で、県民の健康づくりへの意識が高まる一方、生活環境の著しい変化により多様化した個人のライフスタイルに合わせ、1人ひとりへの適切な対応が必要となっている。

当所では、「6.栄養改善」(p.18)で述べた給食施設指導、食生活改善推進協議会会員・市町村栄養士等の教育・研修事業のほか、次のことを行い、適切な食生活と健康管理の推進並びに健康増進活動を行う地域指導者の育成に努めた。

### 1. 栄養改善指導実施状況

	個別指導延人員		集団指導延人員	
	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導
乳幼児	-	-	-	-
20才未満	-	-	-	-
20才以上	7	-	589	-
計	7	-	589	-

### 2. 朝食欠食幼児ゼロ推進事業

日時	内容	場所	対象者
平成19年 8月21日	食育に関する講義	桑名市中央公民館	養護教諭等 30名
平成19年 1月31日	食育に関する講義	桑名市立城南小学校	教諭と保護者 42名

### 3. 食事バランスガイド地域協働啓発事業

日時	内容	場所	対象者
平成19年 6月10日	協働普及啓発 (マックスハリュ中部(株) 地域活動栄養士会と協働)	マックスハリュ北勢店	一般住民 100名
平成19年 9月13日	研修会 給食施設従事者研修会	三重県桑名庁舎 第一会議室	給食施設従事者 62名
平成19年 12月3日	調理師講習会における 健康教育	桑名市 多度公民館	桑員調理師会員 45名
平成19年 12月7日	調理師講習会における 健康教育	桑名市 長島公民館	桑員調理師会員 61名
平成19年 12月11日 12月19日	調理師講習会における 健康教育	三重県桑名庁舎 第一会議室	桑員調理師会員 123名

## 第7章 健康づくり(ヘルシーピープルみえ・21)・保健栄養

### 4. 栄養士職域ネットワーク研究会

平成11年度に策定した地域栄養改善活動指針をもとに、地域課題の把握、検討及び評価を行うとともに、栄養士が所属する各職域の紹介やメニューなどをホームページで情報発信した。

・検討委員：6名      ・検討会      ：1回

## 26. 薬物乱用防止対策の推進

薬物乱用防止対策の推進として、地域における薬物乱用対策を総合的かつ効果的に推進するため、各関係機関の協力を得て「ダメ。ゼッタイ。普及運動」「麻薬・覚せい剤禍撲滅運動」等の効果的な啓発運動を実施した。

三重県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

- ・日時 : 平成19年7月5日(木)
- ・場所 : JR桑名駅前
- ・内容 : 通勤通学時の通行人にパンフレット等啓発物品を配布した。

小学生における啓発(薬物乱用防止教室)

- ・日時 : 平成19年12月から平成20年3月
- ・対象 : 管内6小学校の高学年 223名
- ・内容 : 薬物見本、パワーポイント等により啓発を行った。

## 27. 献血推進

血液需要の円滑な供給を図るため、広く献血思想の普及、啓発にあたるとともに、献血の組織化及び献血組織の育成に努めた。特に、成分献血について、その必要性をアピールし推進に努めた。

また、高校生に対して献血思想の普及啓発を呼びかけるとともに、献血ボランティアを募集し一緒に献血啓発に取り組んだ。

### 1. 市町別献血状況

区分	年度	献血量	計	桑名市	いなべ市	桑名郡	員弁郡
						木曽岬町	東員町
献血数 (人)	15	200ml	35	18	2	-	15
		400ml	3,439	2,281	807	51	300
	16	200ml	1	1	-	-	-
		400ml	3,406	2,366	776	58	206
	17	200ml	1	1	-	-	-
		400ml	3,594	2,545	654	45	350
	18	200ml	4	3	-	-	1
		400ml	3,689	2,435	826	46	382
	19	200ml	1	1	-	-	-
		400ml	3,549	2,325	757	87	380

## 28. 狂犬病予防

狂犬病予防法及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、狂犬病発生防止に努めるとともに、関係市町の協力の下に畜犬の収容、放し飼い防止などの飼育指導を行い、畜犬による人畜その他の危害の発生防止に努めた。なお、猫の収容も行った。

### 1. 畜犬捕獲等業務

年度	畜犬捕獲及び収容頭数	返還頭数	咬傷犬届出件数	猫引取数
平成13年度	383	22	13	244
平成14年度	362	37	13	267
平成15年度	330	28	22	344
平成16年度	290	44	17	290
平成17年度	290	49	16	243
平成18年度	255	25	16	266
平成19年度	232	41	14	236

## 29. 介護保険

介護保険運営する保険者（市町）を指導及び支援すると共に、介護保険基盤である指定居宅サービス事業所、指定介護支援事業所、介護保険施設からの指定申請等を審査し、必要に応じて運営等について指導した。

### 1 介護支援専門員実務研修受講試験申込書配布状況

受付期間 平成 19 年 6 月 12 日から 7 月 27 日まで

受付件数 114 部

### 2 現任研修実施状況

要介護認定調査員現任研修会

実施日時：平成 19 年 10 月 25 日（木）

実施場所：員弁コミュニティプラザ 集会室

参加者数：46 名

介護認定審査会委員現任研修会

実施日時：平成 19 年 10 月 4 日（木）

実施場所：桑名市大山田コミュニティプラザ 中会議室

参加者数：48 名

第10章 高齢者福祉

3 要支援・要介護認定状況

(単位：人) 平成20年3月31日現在

保険者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
桑名市	570	634	532	933	658	562	437	4,326
いなべ市	141	221	243	213	263	176	183	1,440
木曾岬町	13	23	15	33	18	23	16	141
東員町	35	105	129	124	115	81	61	650
管内計	759	983	919	1,303	1,054	842	697	6,557
三重県計	7,523	11,069	12,890	13,777	12,187	9,673	7,521	74,640

年次推移(管内)

管内	15年3月末	16年3月末	17年3月末	18年3月末	19年3月末	20年3月末
要支援	724	710	750	780	要支援1 784 要支援2 893	要支援1 759 ----- 要支援2 983
要介護1	1,398	1,899	2,140	2,202	1,021	919
要介護2	961	946	937	873	1,266	1,303
要介護3	632	716	808	894	934	1,054
要介護4	640	735	764	793	838	842
要介護5	536	622	655	602	695	697
計	4,891	5,628	6,054	6,144	6,431	6,557

年次推移(三重県)

三重県	15年3月末	16年3月末	17年3月末	18年3月末	19年3月末	20年3月末
要支援	8,811	9,718	10,474	10,334	要支援1 8,024 要支援2 10,437	要支援1 7,523 ----- 要支援2 11,069
要介護1	15,691	20,200	22,820	24,112	13,945	12,890
要介護2	10,220	9,877	10,344	10,340	12,601	13,777
要介護3	7,193	8,172	9,042	9,402	11,566	12,187
要介護4	7,157	8,112	8,457	8,644	9,229	9,673
要介護5	6,071	6,862	7,072	6,754	7,313	7,521
計	55,143	62,941	68,209	69,586	73,115	74,640

数値については、平成20年6月27日把握。

変動する可能性があります。

## 第 10 章 高齢者福祉

### 4 介護保険審査会の開催状況

区 分	審査請求 件 数	取り下げ 件 数	裁 決 結 果			
			審理中	却 下	認 容	棄 却
桑名保健福祉事務所	1	1	-	-	-	-
三 重 県	4	1	3	1	0	2

平成 19 年度の要介護認定に係る不服申立を集計したものである。

### 30. 母子及び寡婦福祉

#### 1. 母子及び寡婦福祉資金の貸付

母子家庭及び寡婦に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、扶養している児童の福祉を増進するための資金の貸付を行った。

(単位：件、円)

資金名	郡 部		桑 名 市		いなべ市		計			
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額		
18年度	5	4,387,000	3	2,945,500	1	648,000	9	7,980,500		
19年度	6	8,592,000	7	6,838,000	-	-	13	15,430,000		
母子福祉資金貸付	内 訳	事業開始		-	-	-	-	-	-	
		事業継続		-	-	-	-	-	-	
		修学	3	6,852,000	4	5,418,000	-	-	7	12,270,000
		就職支度			-	-	-	-	-	-
		生活			-	-	-	-	-	-
		住宅			-	-	-	-	-	-
		転宅			1	260,000	-	-	1	260,000
		医療介護			-	-	-	-	-	-
		就学支度	3	1,740,000	2	1,160,000	-	-	5	2,900,000
		結婚			-	-	-	-	-	-
		修業			-	-	-	-	-	-
		技能習得			-	-	-	-	-	-
児童扶養			-	-	-	-	-	-		
寡婦福祉資金貸付	内 訳	18年度	-	-	-	-	-	-	-	
		19年度			1	580,000	-	-	1	580,000
		事業開始			-	-	-	-	-	-
		事業継続			-	-	-	-	-	-
		修学			-	-	-	-	-	-
		就職支度			-	-	-	-	-	-
		生活			-	-	-	-	-	-
		住宅			-	-	-	-	-	-
		転宅			-	-	-	-	-	-
		医療介護			-	-	-	-	-	-
		就学支度			1	580,000	-	-	1	580,000
		結婚			-	-	-	-	-	-
修業			-	-	-	-	-	-		
技能習得										

### 31. 女性相談

平成 14 年度から婦人相談員（女性相談員）を配置して、女性が抱えるいろいろな悩みや心配ごとなどの相談に応じている。平成 19 年度は次のとおり実施した。

#### 1 平成 19 年度相談件数

	来所相談	電話相談	出張・訪問相談	その他	計
新規・再来相談	8	12	3	0	23
継続相談	16	141	6	0	163
計	24	153	9	0	186

#### 2 平成 19 年度相談主訴別受付状況（新規・再来相談）

		来所	電話	出張・訪問	その他	計	
人間関係	夫等	夫等の暴力	5	4	2	-	11
		酒乱・薬物中毒	-	-	-	-	-
		離婚問題	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-
	子ども	子どもの暴力	-	-	-	-	-
		養育不能	-	-	-	-	-
		その他	-	2	-	-	2
	親族	親の暴力	-	-	-	-	-
		その他の親族の暴力	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-
	家庭不和		1	2	-	-	3
	その他の者の暴力		1	-	-	-	1
	男女問題		-	-	-	-	-
	その他		1	1	1	-	3
住居問題		-	-	-	-	-	
帰住先なし		-	-	-	-	-	
経済関係	生活困窮	-	-	-	-	-	
	借金・サラ金	-	-	-	-	-	
	求職	-	1	-	-	1	
	その他	-	-	-	-	-	
医療関係	病気	-	-	-	-	-	
	精神的問題	-	1	-	-	1	
	妊娠・出産	-	-	-	-	-	
	その他	-	1	-	-	1	
不純異性交遊		-	-	-	-	-	
ヒモ・暴力団関係		-	-	-	-	-	
5 条違反		-	-	-	-	-	
トラフィッキング		-	-	-	-	-	
合計		8	12	3	-	23	

平成 16 年度から主訴の分類を変更した。

#### 3 相談件数の推移

年度	14	15	16	17	18	19
相談件数	87	164	143	165	254	186

### 32. 研修・実習生の受入状況

保健・医療・福祉従事者の養成・確保対策の一環として、養成機関との連携のもと、臨床研修医、実習生を受け入れた。

#### 1. 臨床研修医・実習生の受入状況

	所 属 名	実習期間(日)	人員(名)
臨床研修医	山本総合病院	20	2
看護学生	三重県立看護大学看護学部看護学科	8	2
	三重大学医学部看護学科	9	6
管理栄養士	名古屋女子大学	5	2
	名古屋学芸大学	5	3
	鈴鹿医療科学大学	5	3
	中京女子大学	5	1
合 計		57	19

平成20年版 桑名保健福祉事務所年報

(平成19年度実績)

平成20年8月発行

三重県桑名保健福祉事務所

511-8567 三重県桑名市中央町5丁目71番地

総務企画課 0594-24-3621

